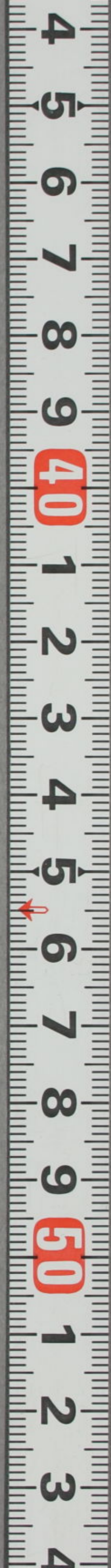




其紫部  
通後

三四三  
編編編

14  
3157  
47 (2x)



Handwritten notes and diagrams on the right page, including a large character 'あ' and other illegible characters.

新刻

校正

御江戸昌平町鑑

全一冊出版

半紙摺薄用摺

幼童教訓

面白

一巻一勇齋國芳画

教訓 浮世ゆめの糸

全冊万亭應賀作 出版溪齋英泉画

孝子の志度 悪賊の魔度

雙言討妙々車

全冊柳下亭種員作 近刻一勇齋國芳画

刊行書肆

東都

錦林堂

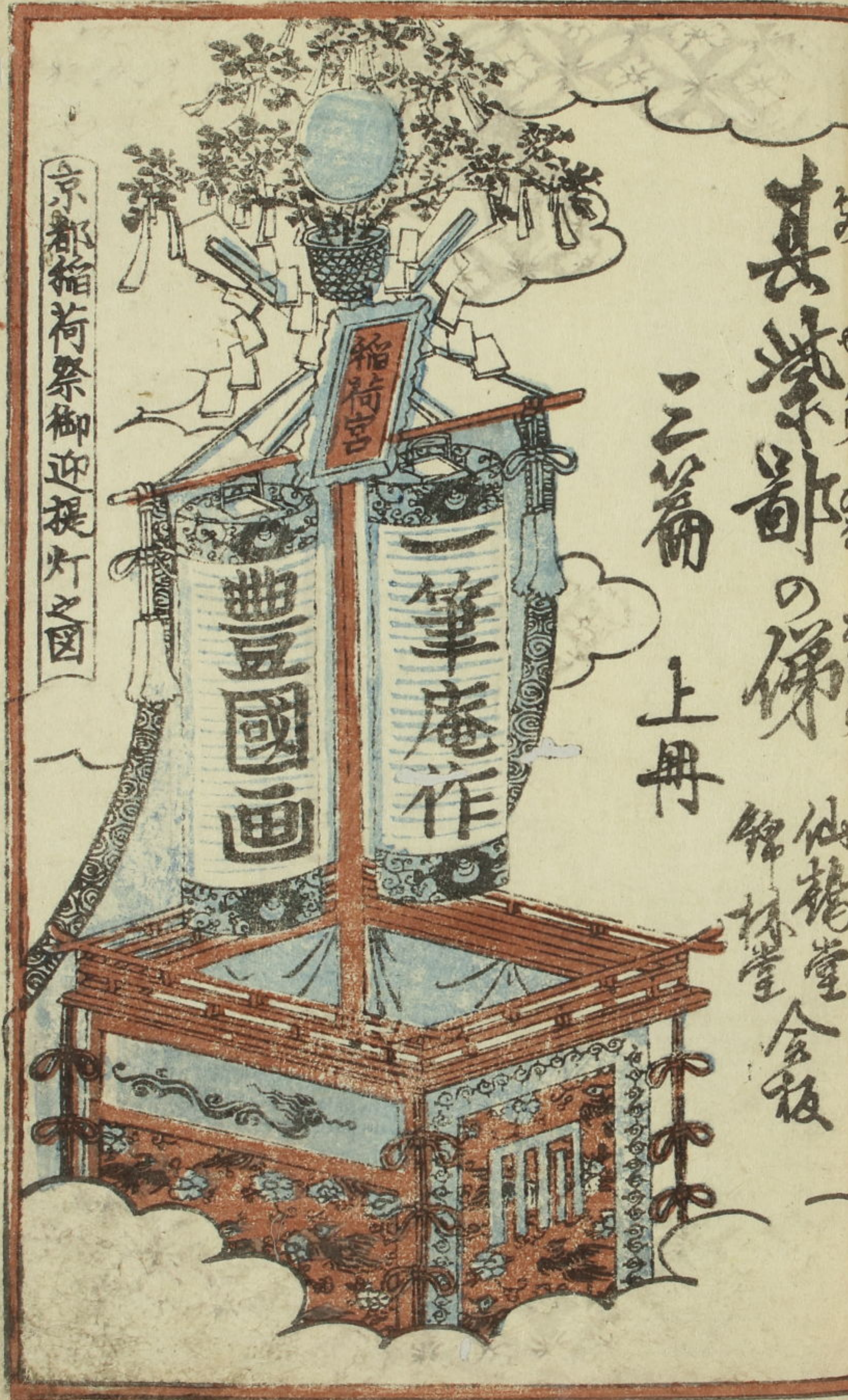
己酉彩版  
 一筆茶作  
 豊國五

其紫部  
 傳四第  
 西



綿林堂  
 仙臺  
 合梓





京都箱荷祭御迎提灯之図

其紫都の俤

仙精堂  
知林堂  
合板

三篇 上冊

賀石恩の喜  
枕並量の能ふかる

豊國門  
國門



其紫

都の俤

五編

一筆庵作

一陽齋画圖

仙鶴

錦林

兩鋪

合刻



上  
八  
の  
目



其  
の  
部

（  
）  
の  
目  
の  
目

其  
の  
目

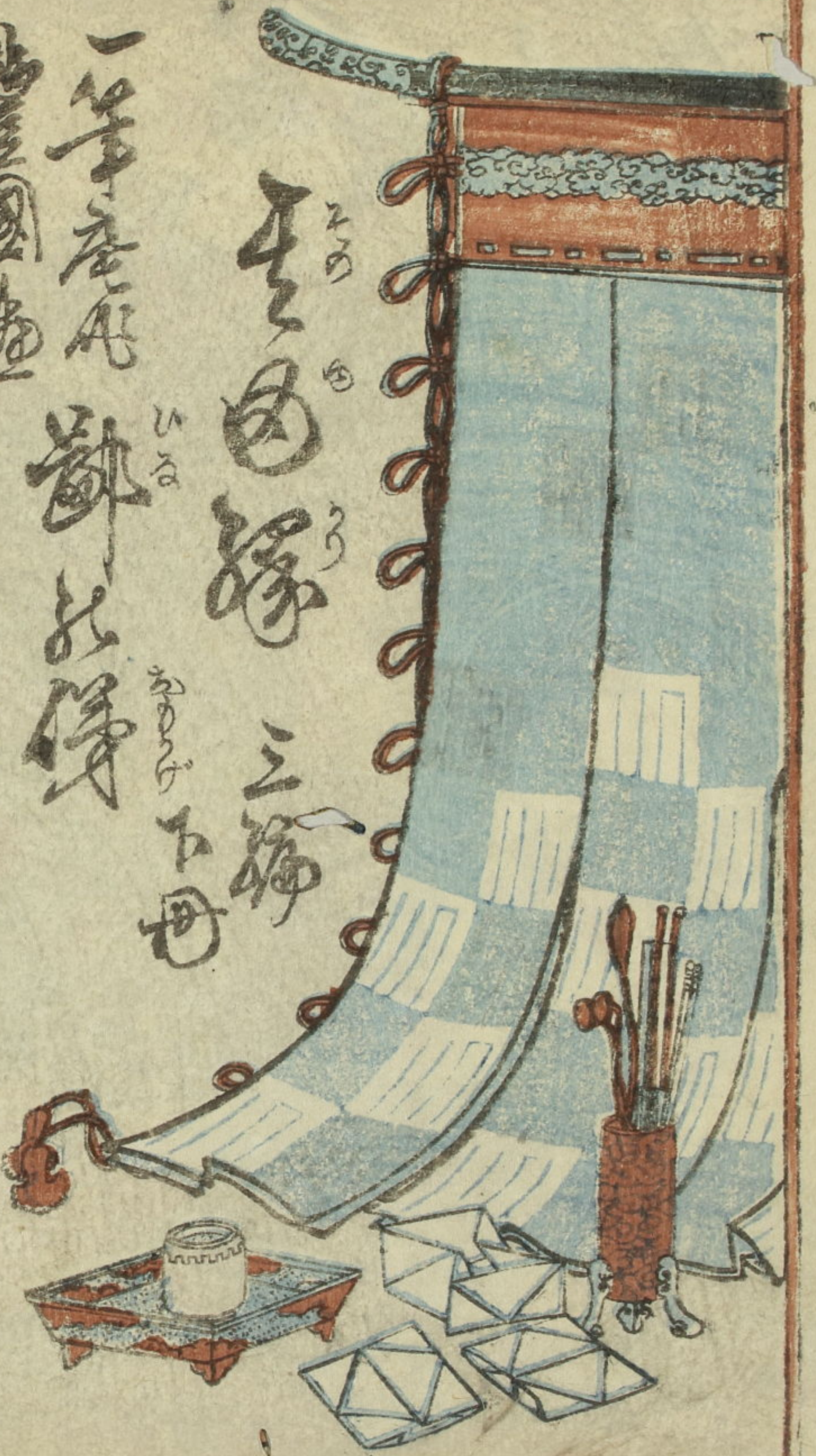
其  
の  
目

此序を書くと... 真朱柱の巻と... 巻を束のりふ假名あり... 式器の腹巻蓋... 種前... 何れ物と... 断らるる先... 新く發客... 青翠... 在りけり... 歸り...

一筆を飛  
曲墨圖畫  
中長新板

其の  
因縁  
三編  
かみりけ  
下冊

仙影の堂  
合梓  
後書堂





卷の名  
耀元琵琶を弾く  
梅枝を唱はる  
梅くえ

むめくえ  
やまきりけり  
二段  
三段  
あ



薰物合の後  
こゝろのちやま  
あつたのちやま  
あつたのちやま

足利の室  
此糸の上

此糸君の事  
千鳥の曲を奏する  
むめくえ  
やまきりけり  
二段  
三段  
あ

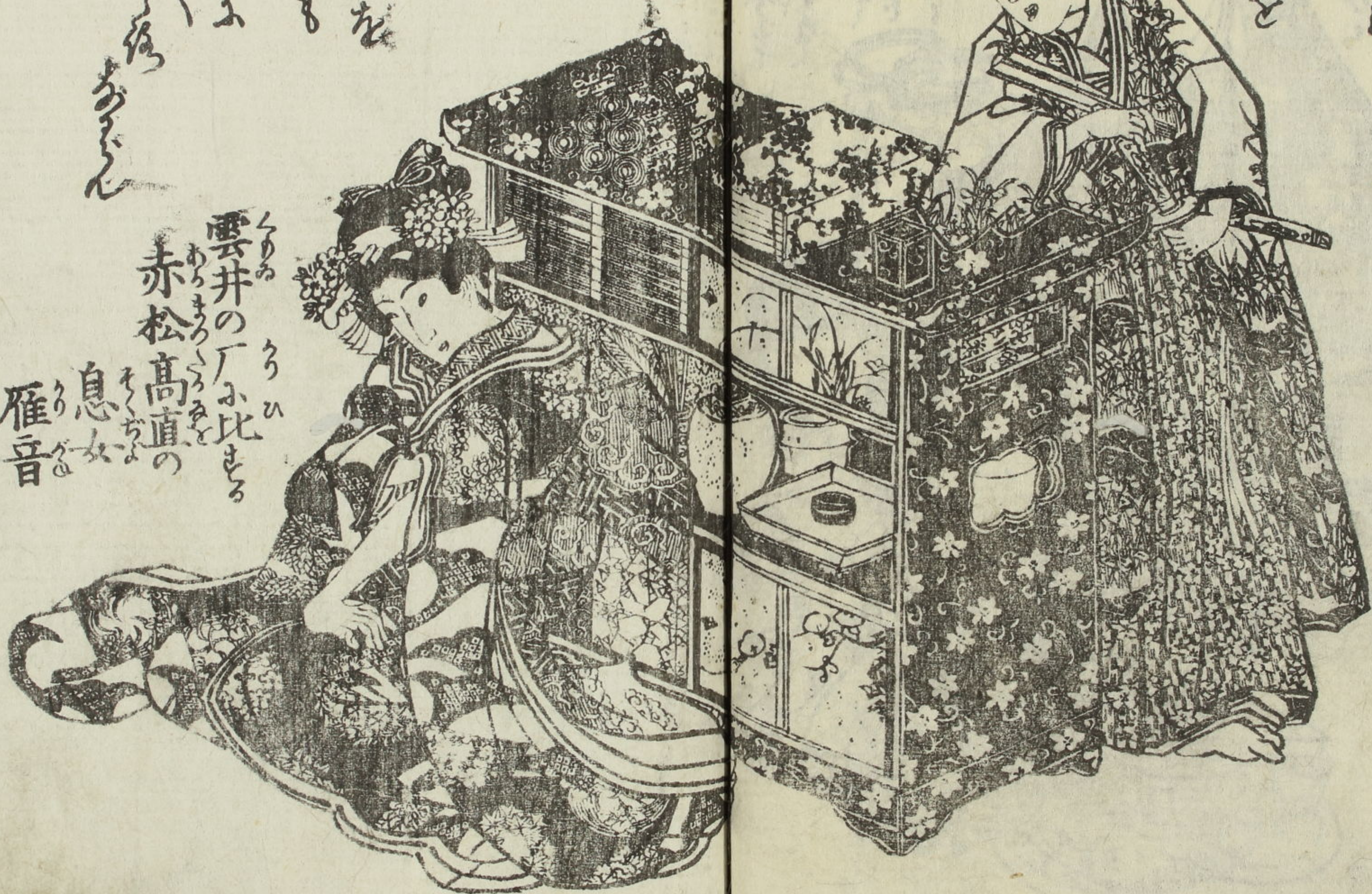


足利  
耀元卿



陽のとく  
 ころれ  
 うるたを  
 あらまも  
 ちや  
 業  
 ちや  
 ちや

雲井の厂ふ比ま  
 赤松高直の  
 息女  
 雁音



此れあらう  
 うるたを  
 ちや  
 業  
 ちや  
 ちや

夕霧の宰相比ま  
 足利雲井之丞氏仲

Handwritten text in the upper right section of the right page, likely a commentary or a list of items.



Handwritten text in the lower right section of the right page, continuing the commentary or list.

Handwritten text in the upper left section of the left page, likely a commentary or a list of items.



Handwritten text in the lower left section of the left page, continuing the commentary or list.

Vertical text labels on the left page, including '河内' (Kani) and '河津' (Katsuta).

Handwritten text in a cursive script, likely a chapter heading or introductory text, located at the top of the right page.



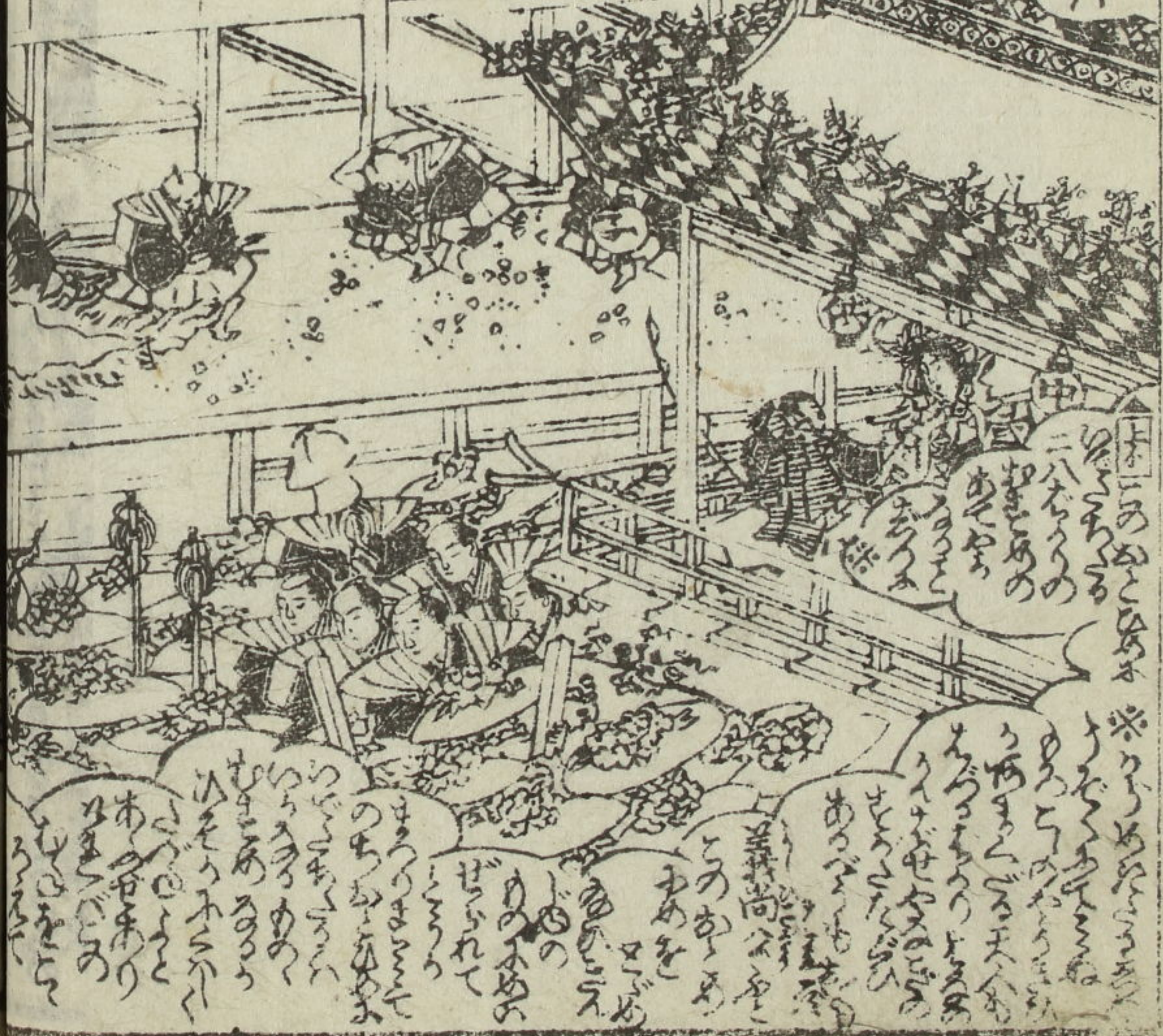
Handwritten text in a cursive script, likely a chapter heading or introductory text, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a chapter heading or introductory text, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a chapter heading or introductory text, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in the upper right section of the right page, likely a continuation of the narrative or commentary.



Handwritten text in the upper left section of the left page, including the title '東山の香春君' (Kaminoyama no Kaichun-kun).



ケスロ國政画

Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introductory text, located at the top of the left page.



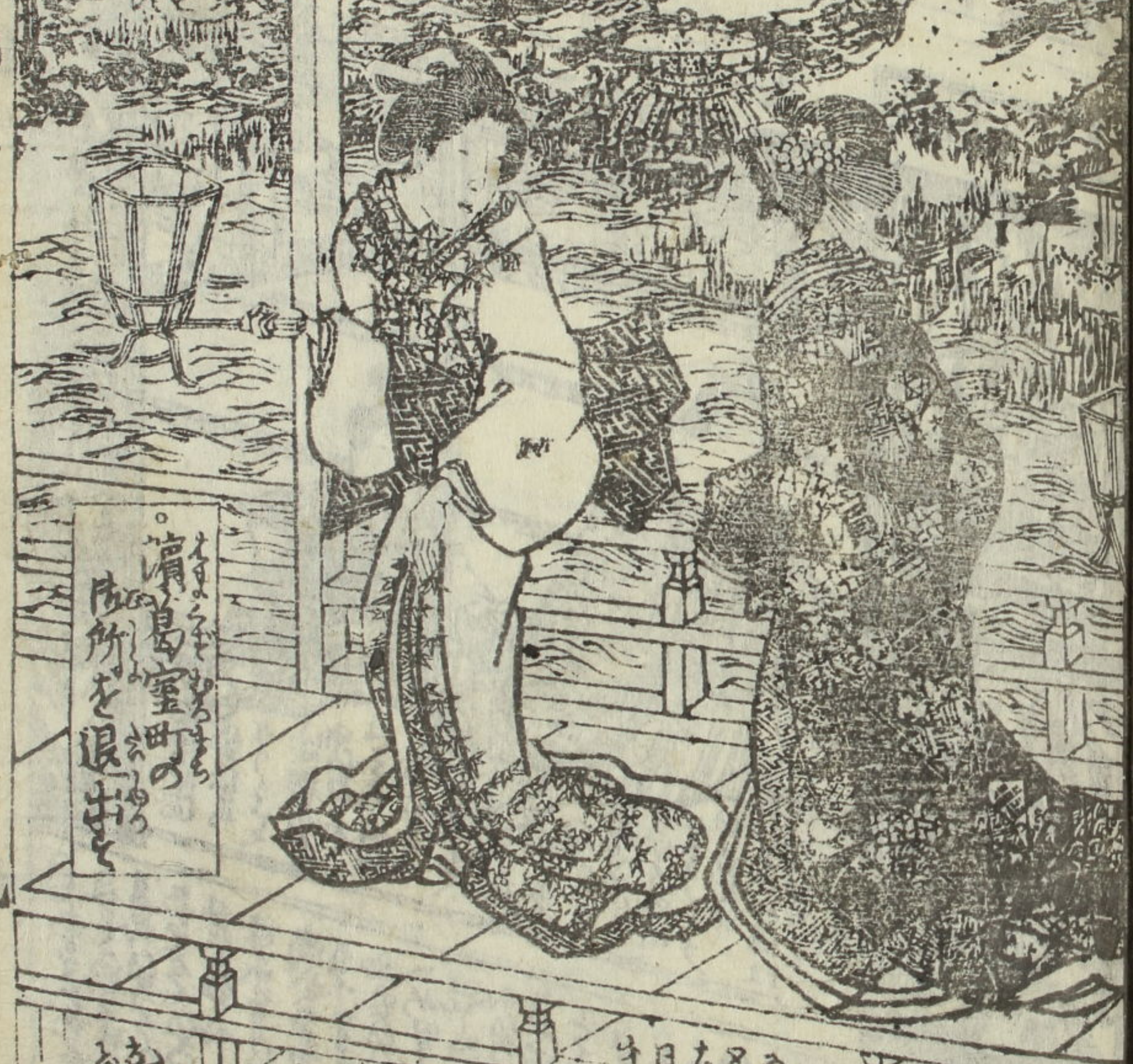
Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introductory text, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introductory text, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introductory text, located at the bottom of the right page.

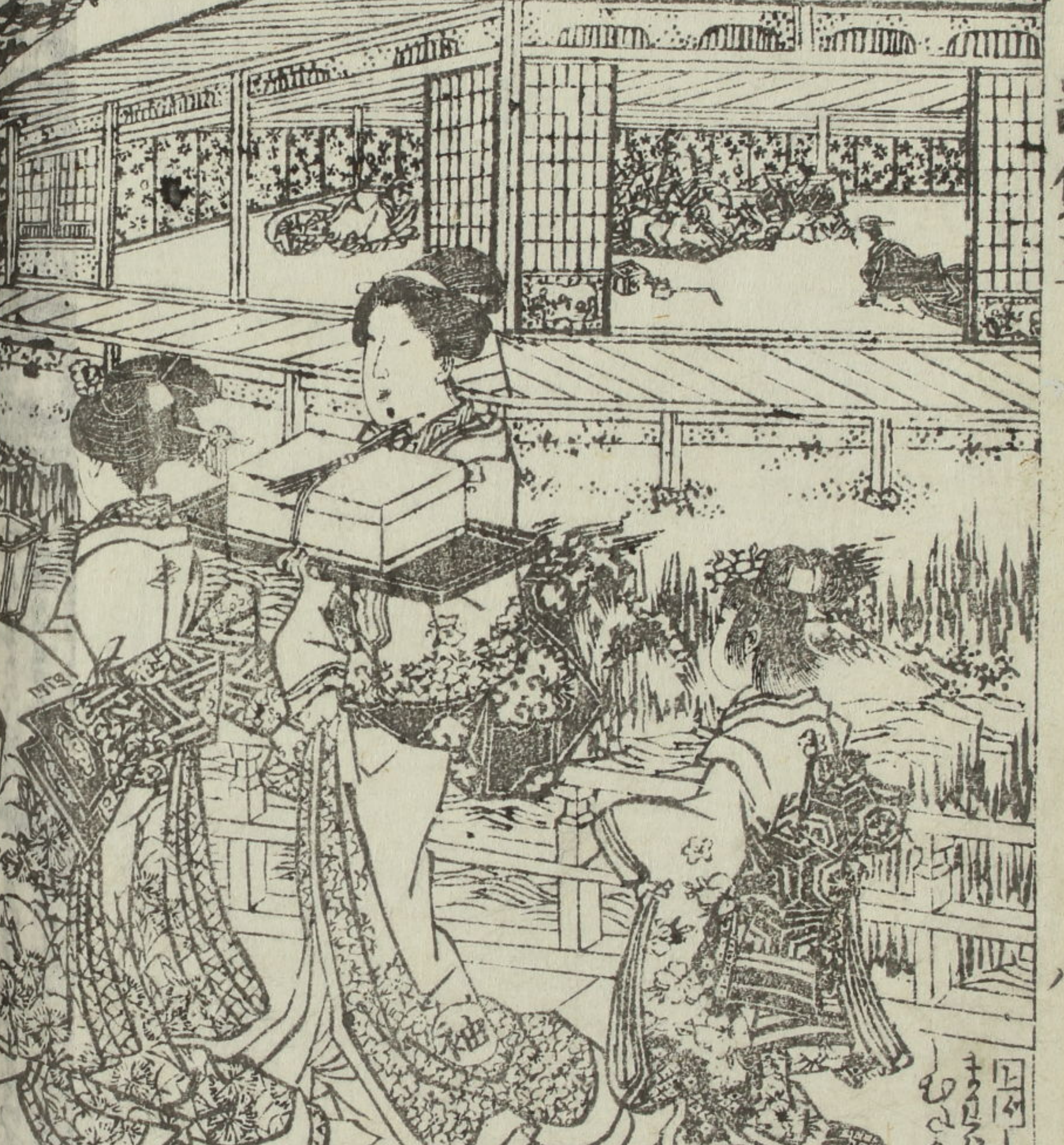
Vertical text columns at the top of the left page, likely representing the first part of a story or a list of names.



清島室町の  
所を退出と

Vertical text columns at the bottom of the left page, likely representing the second part of a story or a list of names.

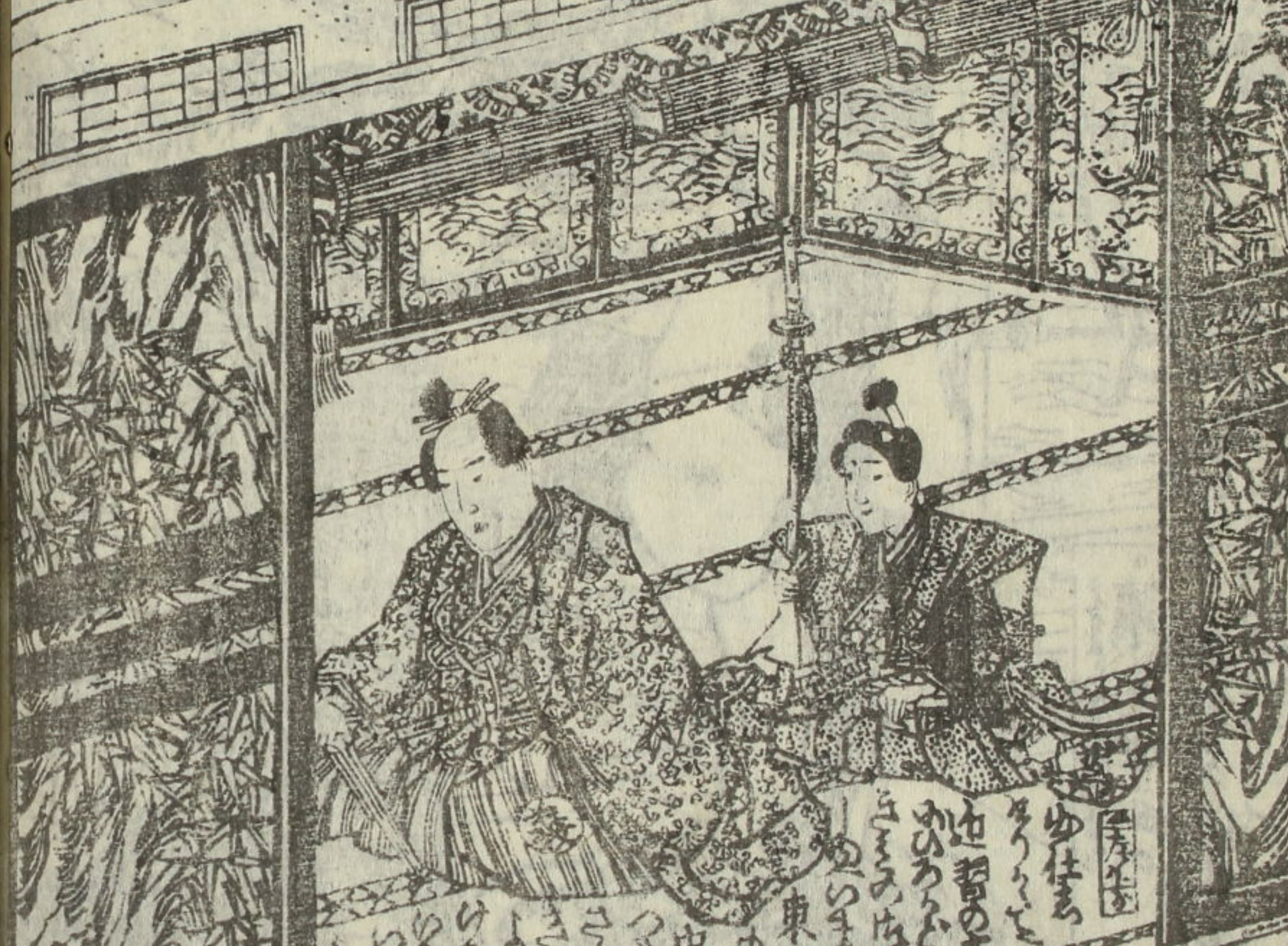
Vertical text columns at the top of the right page, likely representing the first part of a story or a list of names.



Vertical text columns at the bottom of the right page, likely representing the second part of a story or a list of names.

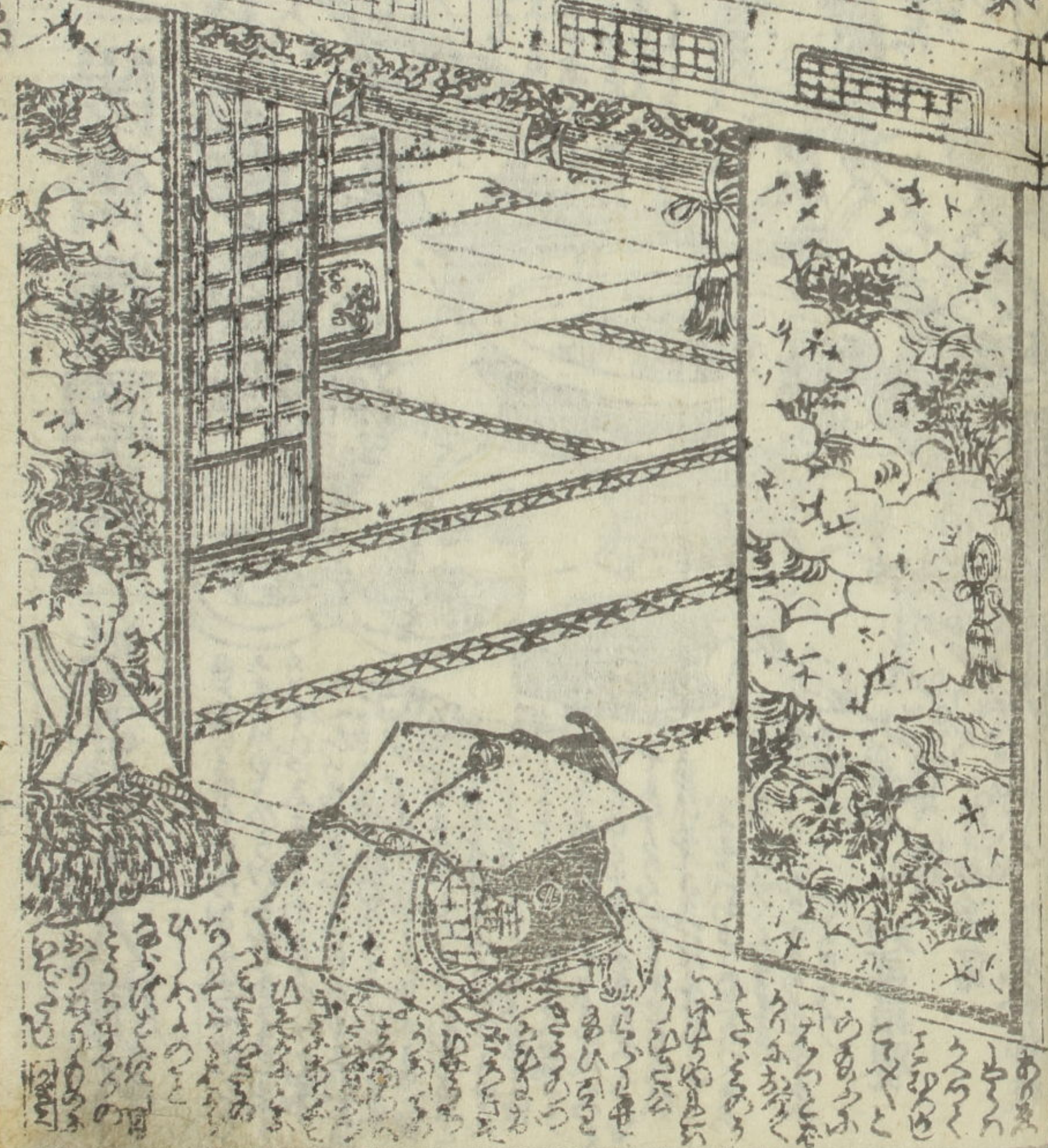
高使三

つらげん... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ...



目... 東山... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ...

つらげん... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ... 女官のあはれ... 朝臣のあはれ... 大政大臣のあはれ...



一陽齋豐國畫一筆笄主人戲作

一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを



知世相慶  
淨寫  
隨風令柳枝

一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを  
一色に普無難の義尚約公の肉意ゆゑを

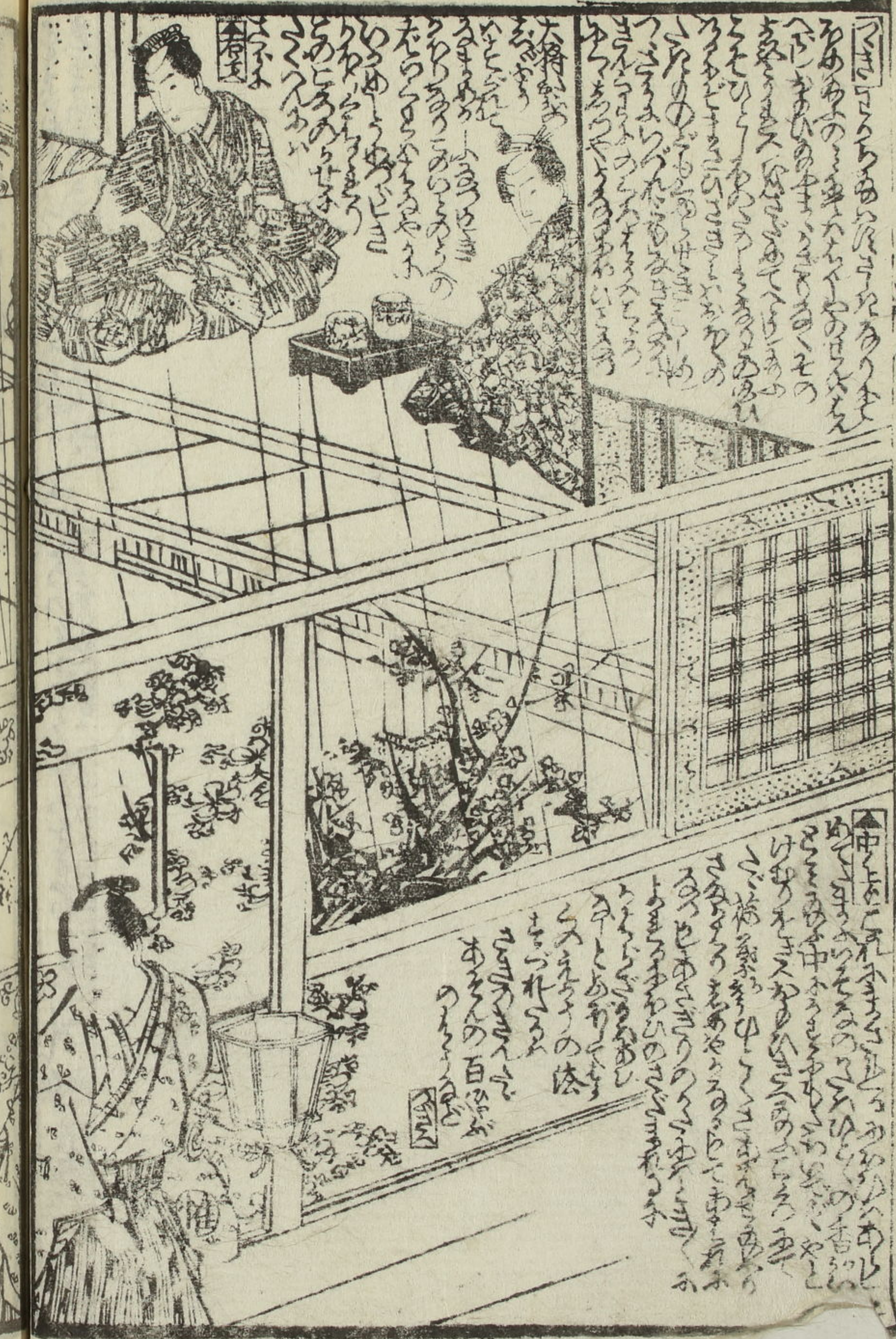
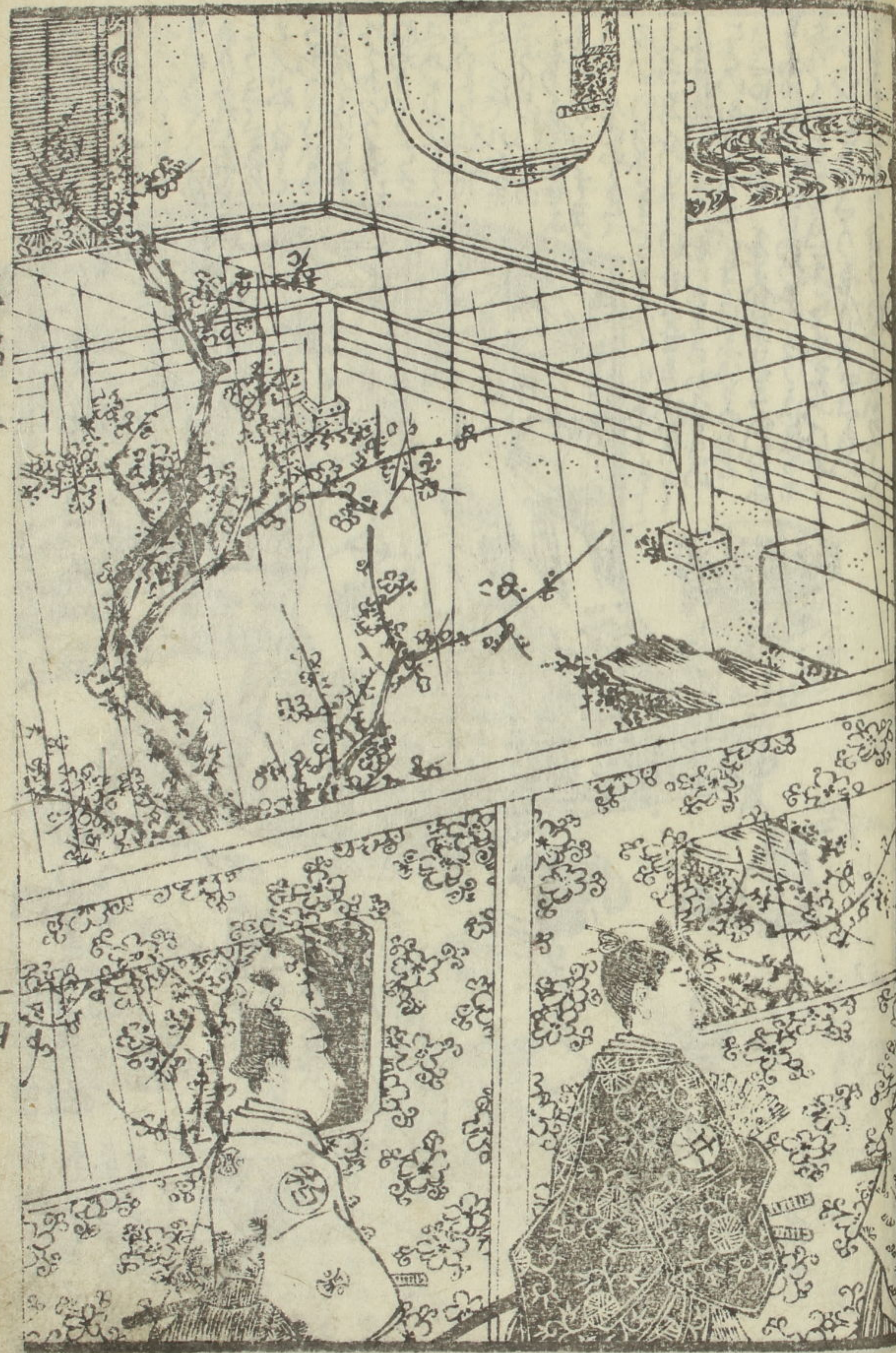


廣  
世の人の  
あはれ  
あはれ  
あはれ  
あはれ  
あはれ





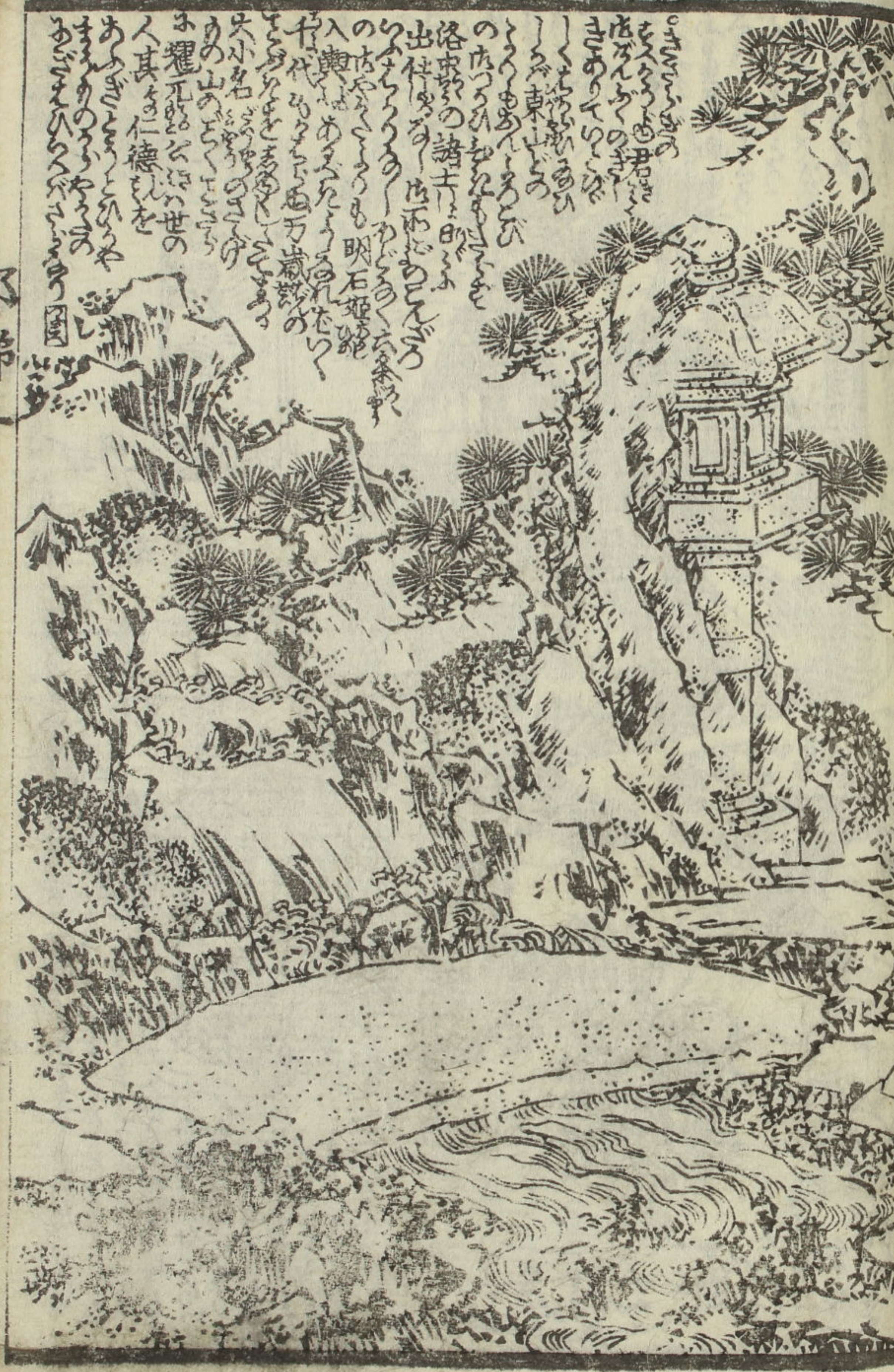












此の山は仁徳天皇の  
 御代に造られたり  
 大石燈籠の  
 出づる所なり  
 此の山は仁徳天皇の  
 御代に造られたり  
 大石燈籠の  
 出づる所なり



柏取の  
 堀の  
 堀の  
 堀の

此の山は仁徳天皇の  
 御代に造られたり  
 大石燈籠の  
 出づる所なり  
 此の山は仁徳天皇の  
 御代に造られたり  
 大石燈籠の  
 出づる所なり



三

三

三





豊國画一筆茶主人作

Handwritten text in the top right corner, likely a preface or commentary on the artwork.

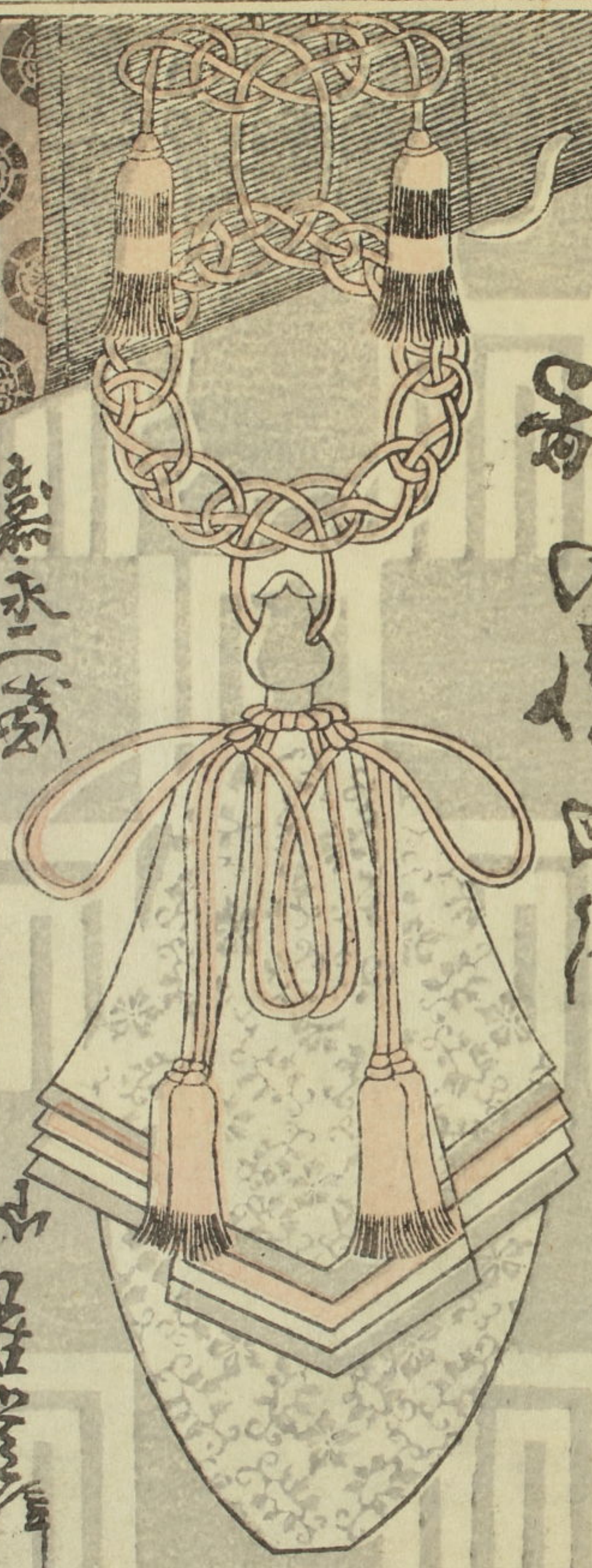


梅の巻  
迎慶招福  
柳枝

好由存

如日如月

一筆茶主人



嘉永二歲  
己酉春刻

門人國政



明子

大正

何事

大正



大正

其

中

部

大正

其申之重郡の西の西海  
 若ぬる産葉のりり身



一筆産財作  
 一得新豊圃  
 但為  
 乃為  
 多んん  
 多んん



大船の書長た物語の...  
 一筆弁主人誌  
 維時弘化四年歲在丁未  
 初秋稿脱同戊申春發市



弟日備



此の  
藤の  
葉の  
巻  
今  
あ  
あ

此の  
巻の  
名

此の  
巻の  
名

柏之  
助



藤の  
裏葉の  
巻

今  
あ  
あ

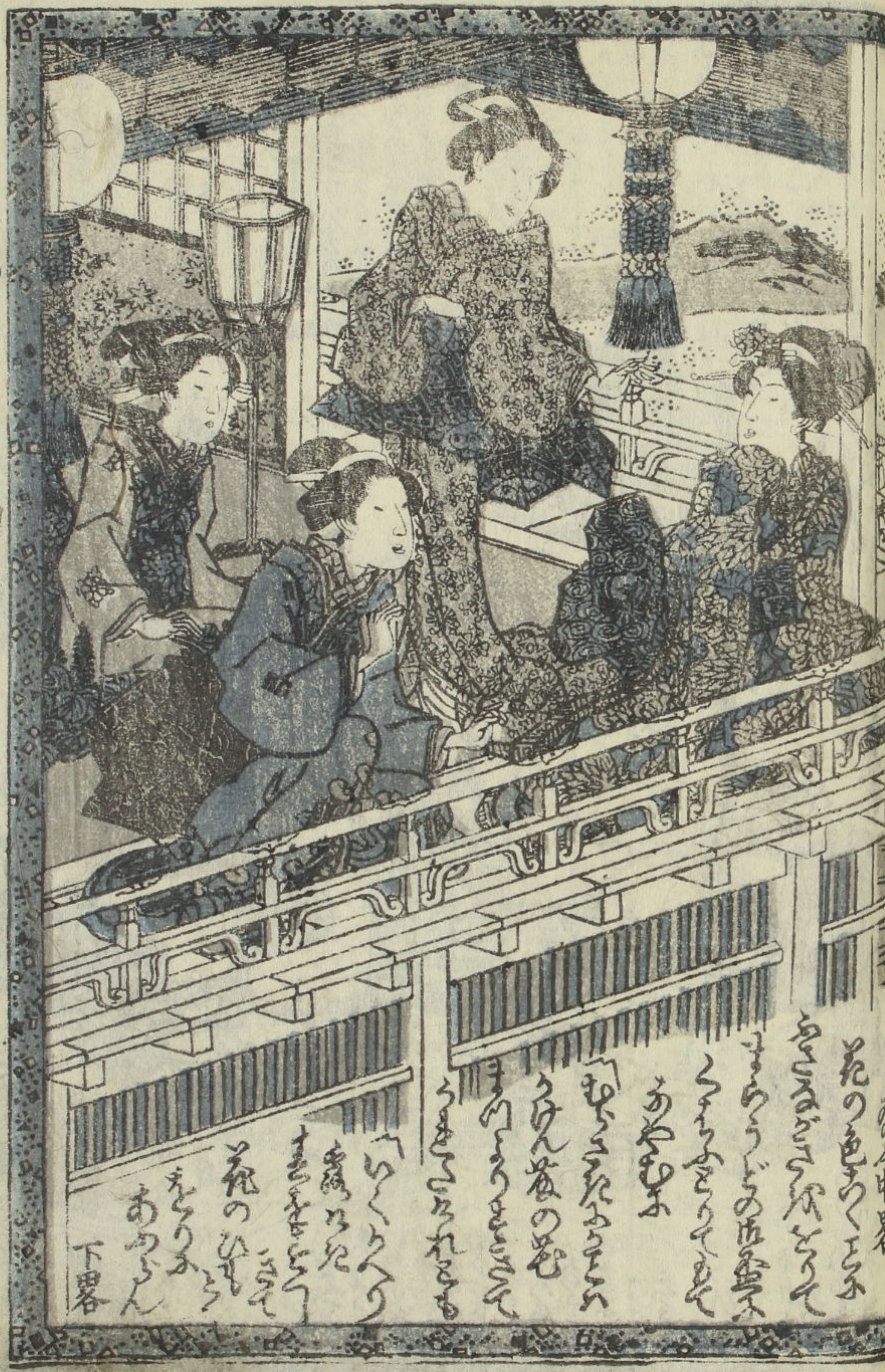
此の  
巻の  
名

赤松

赤松  
梅之丞  
足利  
雲井  
氏之丞  
仲



春の調子花のつぼみはさかしく  
 こねねとまゆみさうふゆふゆふゆふ  
 あなをこころうさうさうさうさう  
 まりのなまなまなまなまなまな  
 とほねひこの花のむすひ  
 こねねとまゆみさうふゆふゆふゆふ  
 あなをこころうさうさうさうさう  
 まりのなまなまなまなまなまな  
 とほねひこの花のむすひ



花の色はくまふ  
 こねねとまゆみ  
 あなをこころ  
 まりのなまな  
 とほねひこの  
 花のむすひ

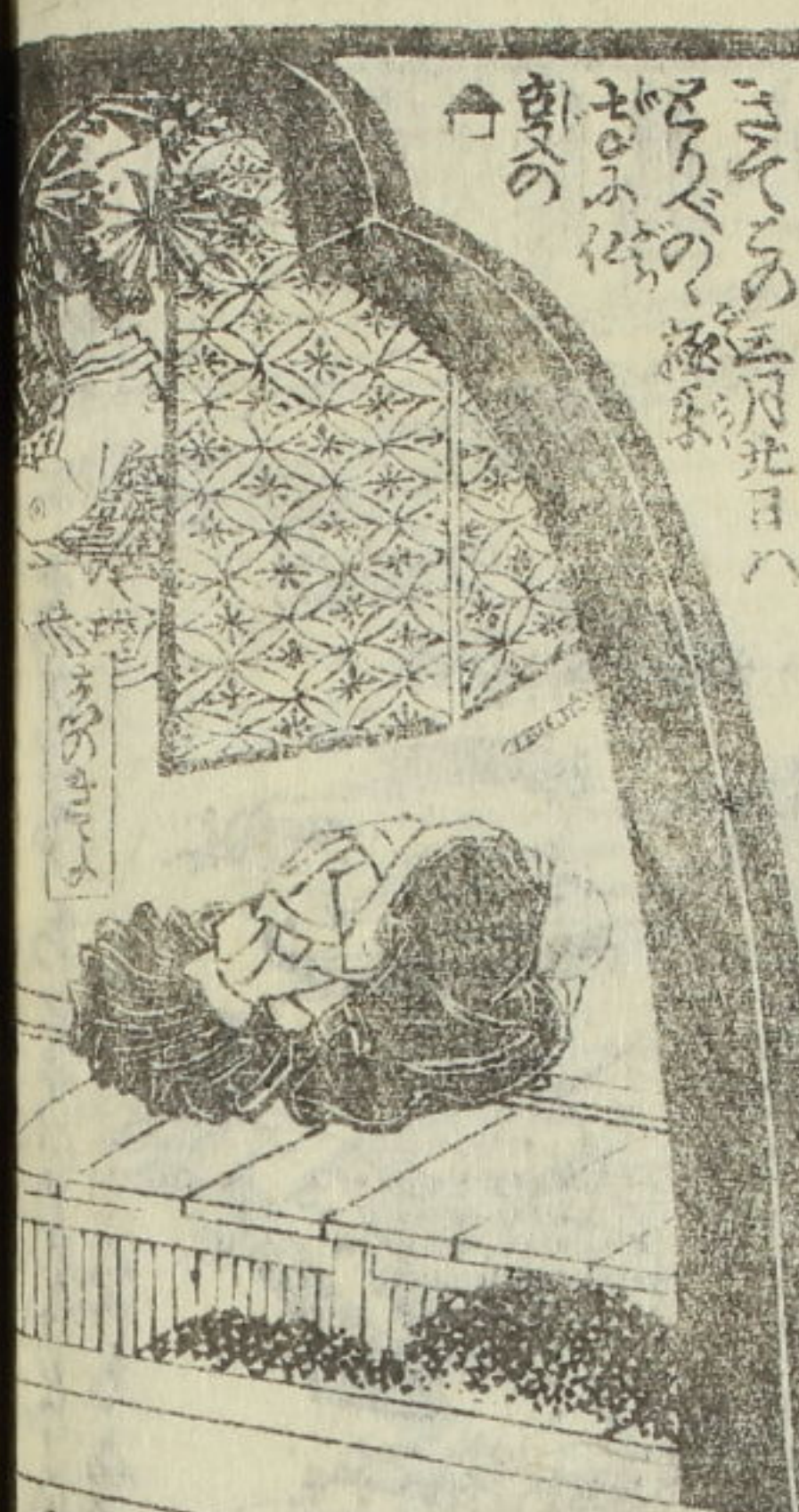




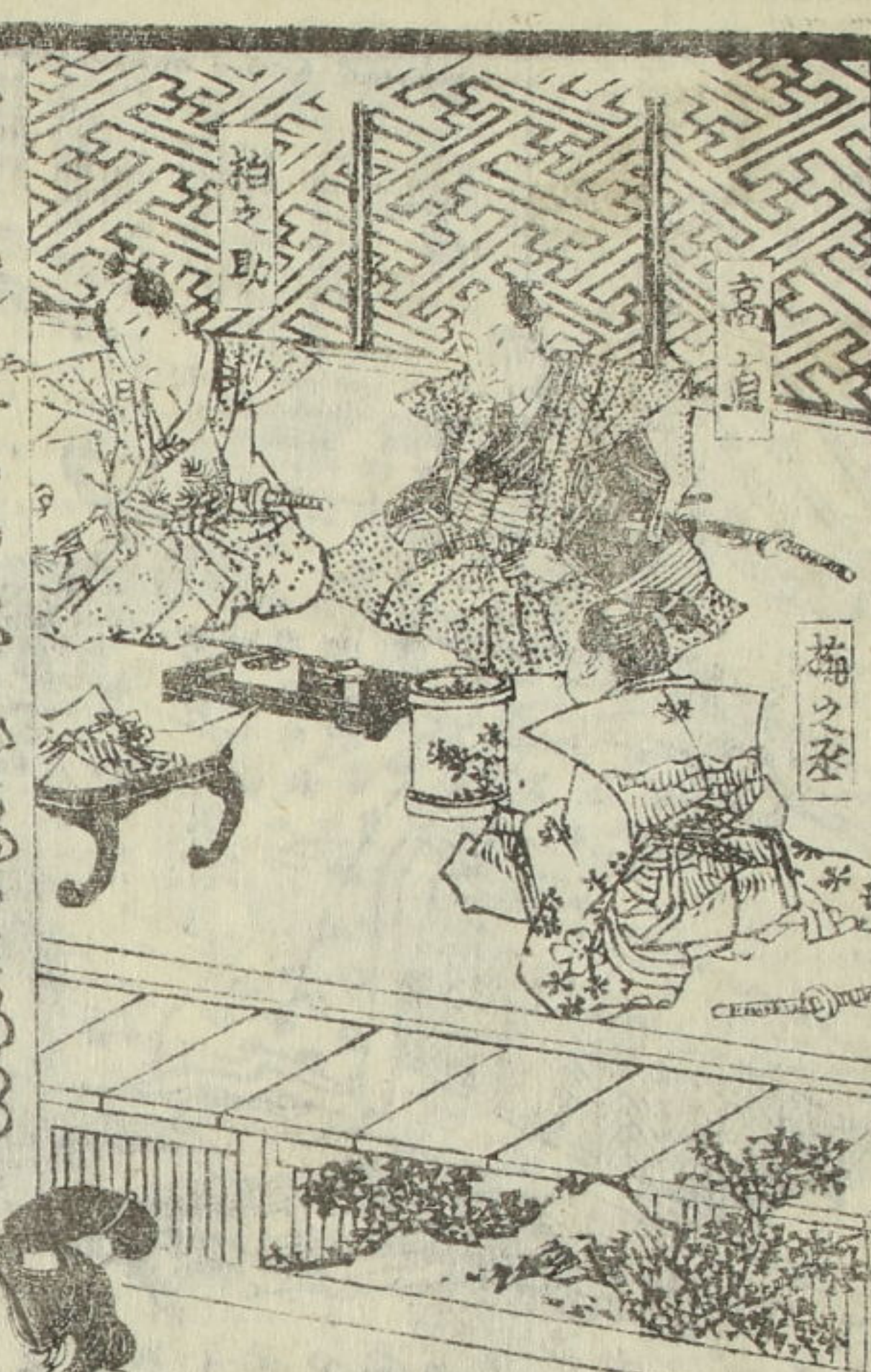
Vertical columns of handwritten Japanese text located above the woman's illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text located to the right of the woman's illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text located below the woman's illustration.



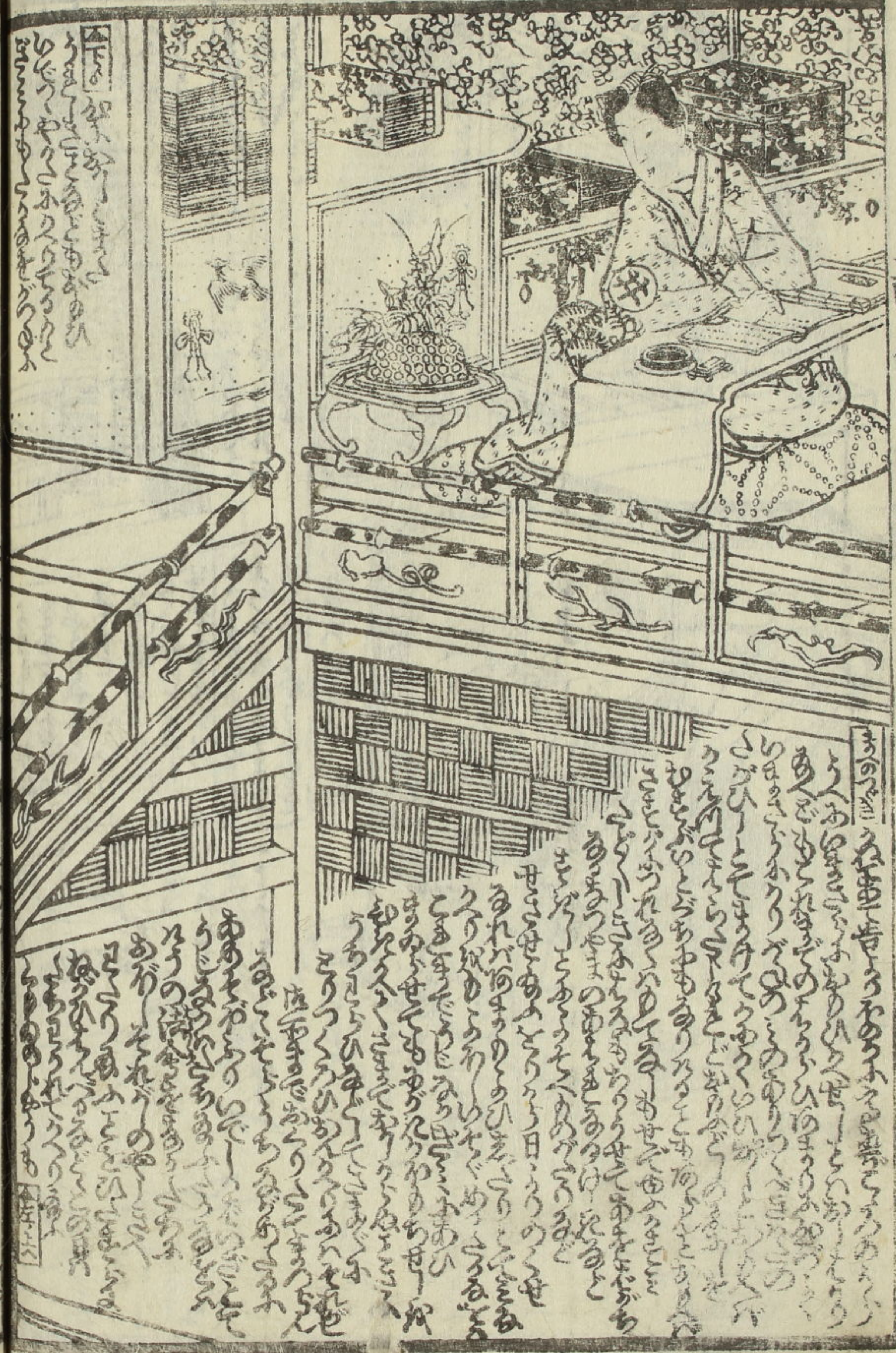
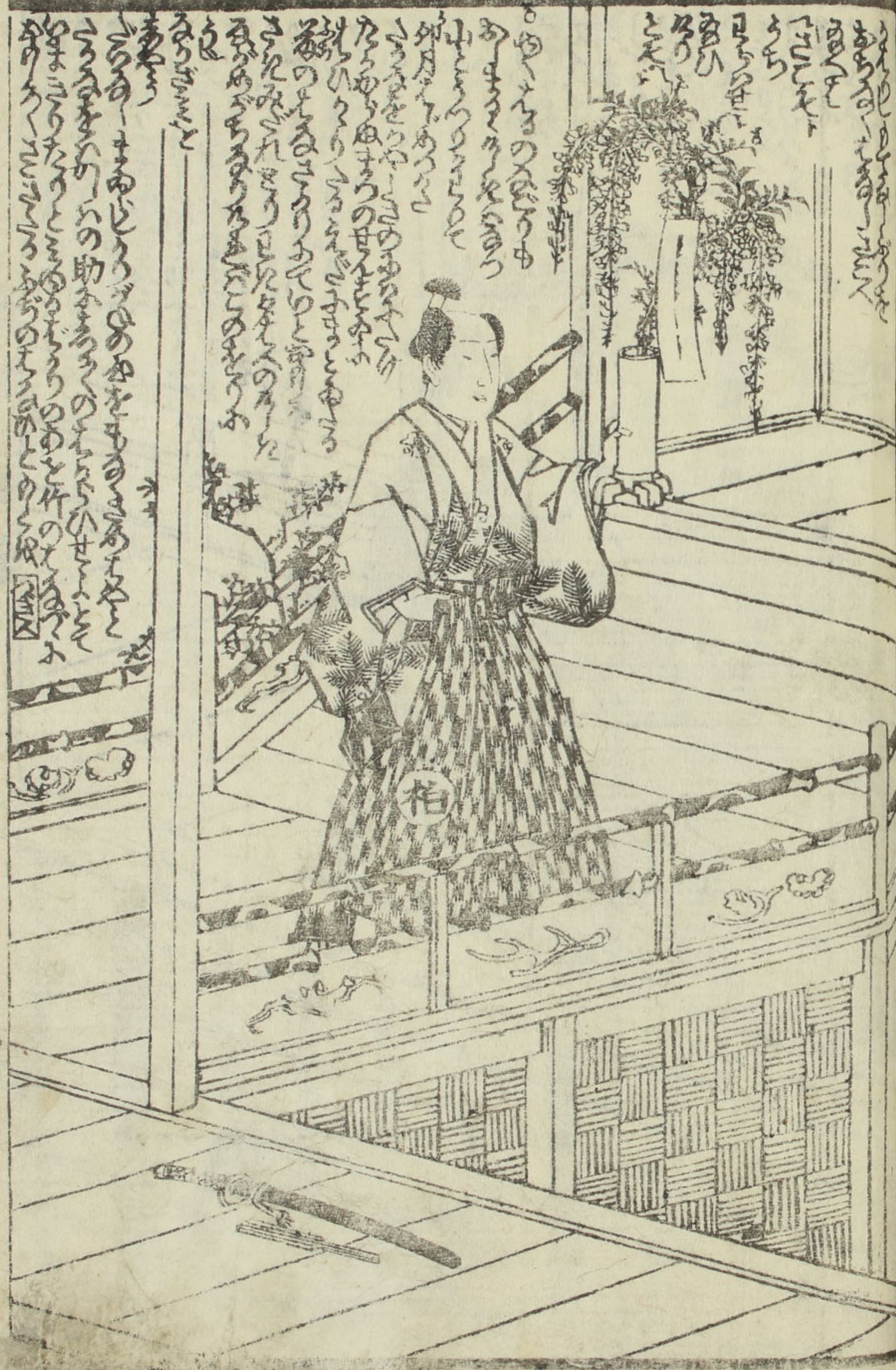
Vertical columns of handwritten Japanese text located below the woman's illustration on the upper right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text located below the woman's illustration on the upper right page.

Vertical columns of handwritten Japanese text located below the woman's illustration on the lower right page.

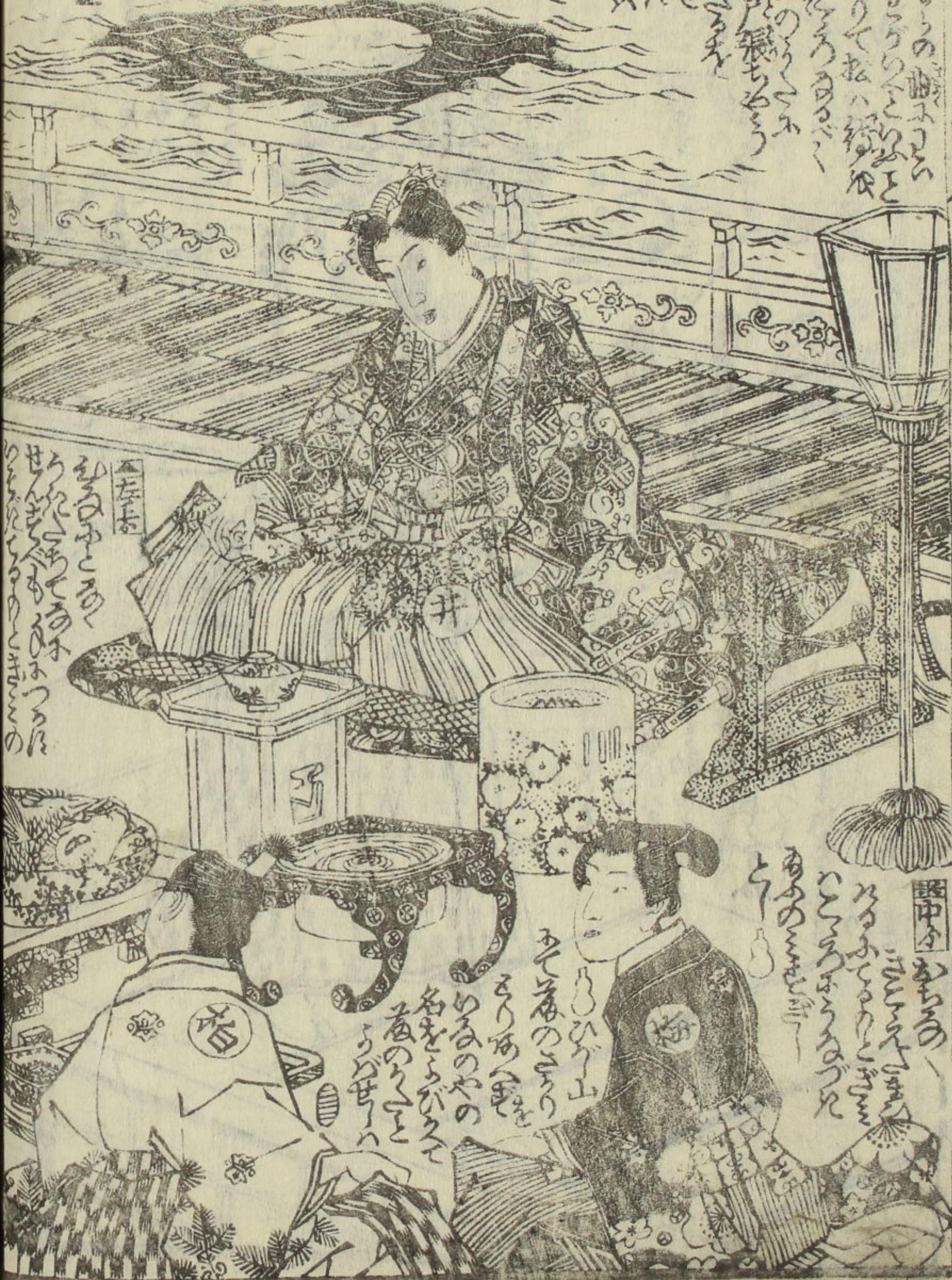






この曲のうらみは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう  
大勢は  
わたくしは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう

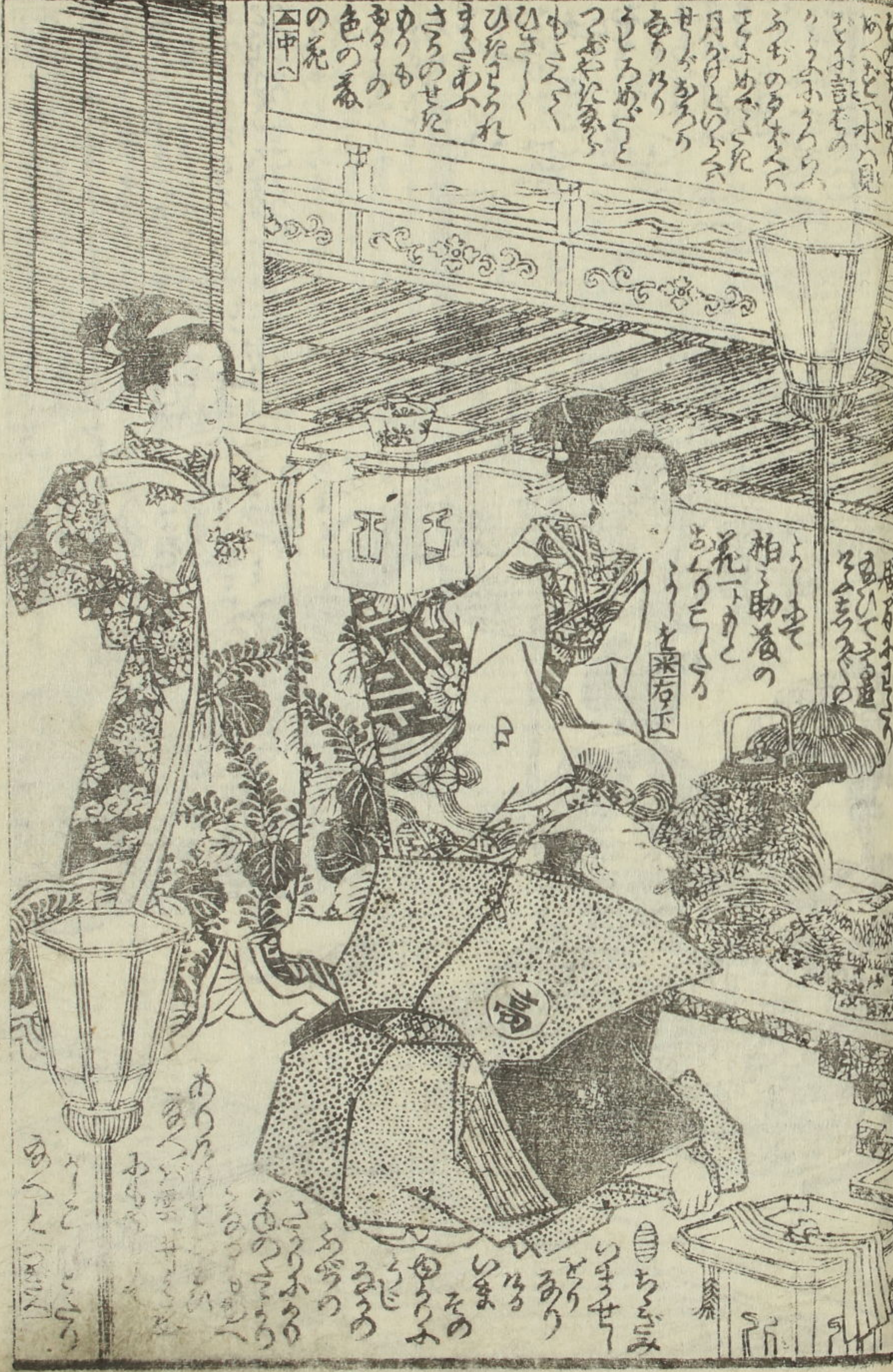
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう  
大勢は  
わたくしは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう



あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう  
大勢は  
わたくしは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう

あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう  
大勢は  
わたくしは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう

あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう  
大勢は  
わたくしは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう



あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう  
大勢は  
わたくしは  
あつたばかりでね  
いひこめは  
目いんの曲のうらみ  
可いへんが寝るさう



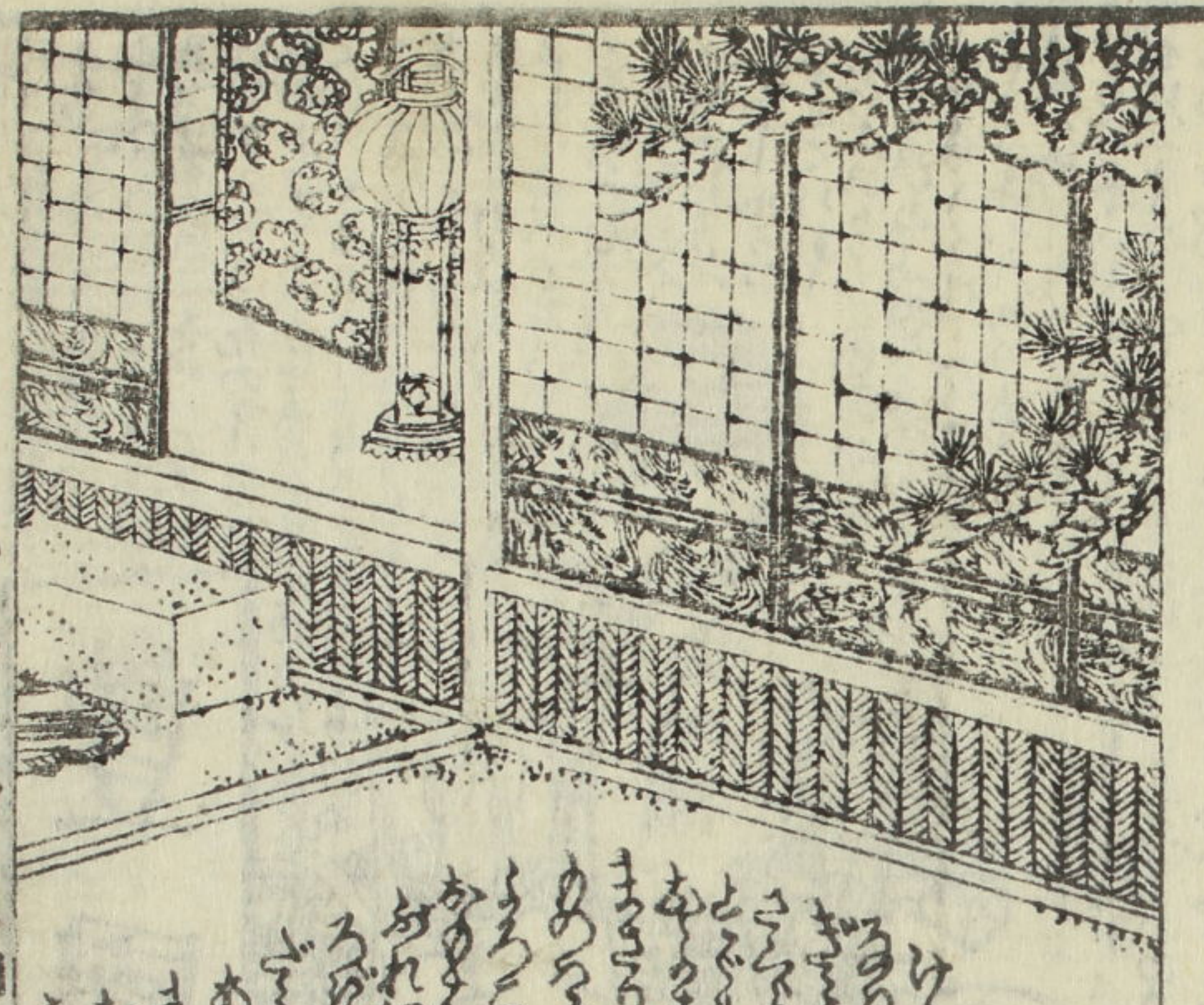


甘きみづがさわやかであつても  
 おもひよかたしきほどうらたか  
 るもあつてはなほあつてはな  
 るはなはなとあつてはなはな

ちやうど  
 あつてはなはな  
 あつてはなはな

ちやうど  
 あつてはなはな

ちやうど  
 あつてはなはな



あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな

あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな  
 あつてはなはなとあつてはなはな





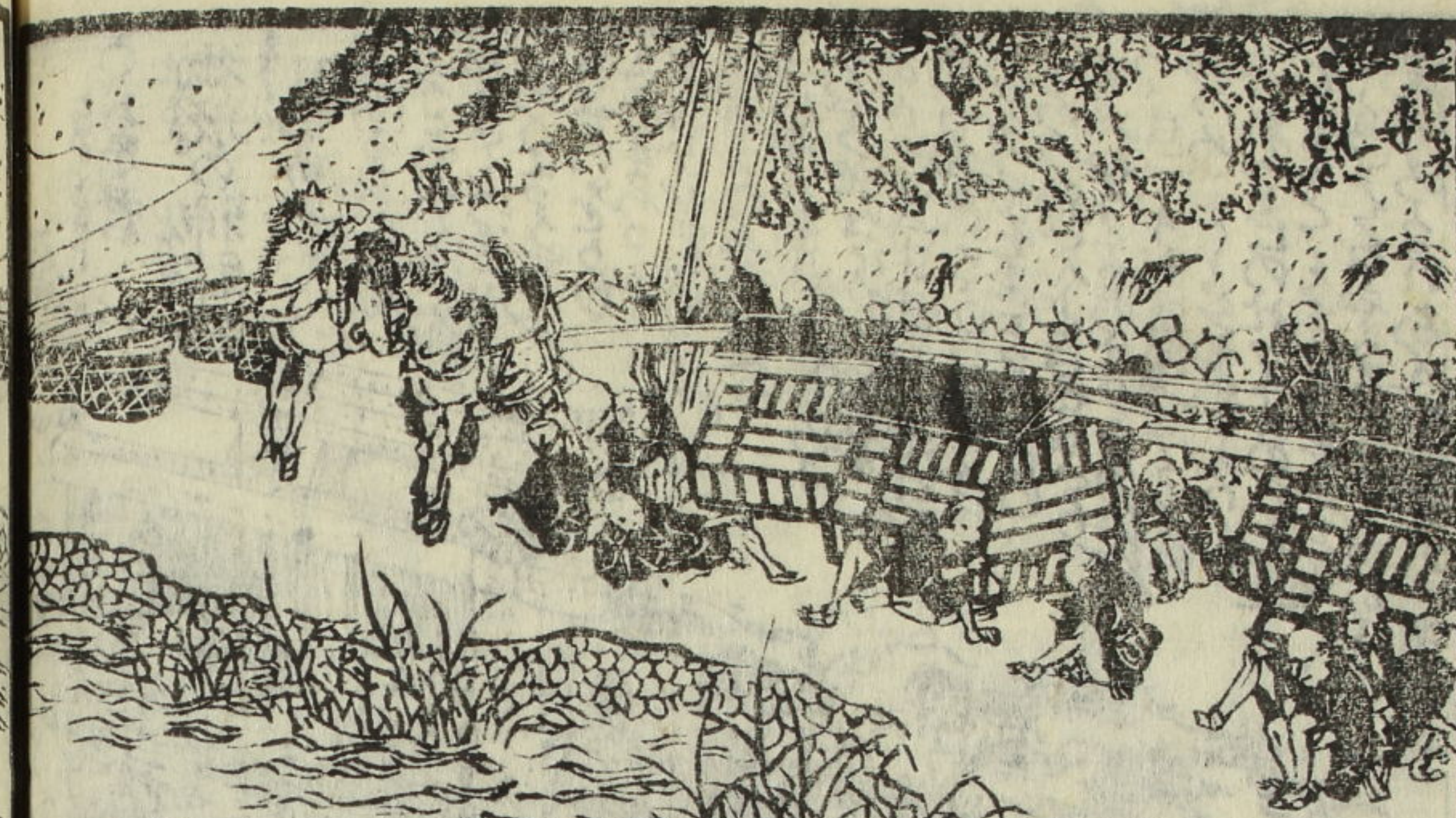






〇由緒の香  
 上り下り  
 勢製とて入  
 少くも入  
 一とて入  
 芝神明前 九喜軒

〇由緒の香  
 上り下り  
 勢製とて入  
 少くも入  
 一とて入  
 芝神明前 九喜軒



〇由緒の香  
 上り下り  
 勢製とて入  
 少くも入  
 一とて入  
 芝神明前 九喜軒

〇由緒の香  
 上り下り  
 勢製とて入  
 少くも入  
 一とて入  
 芝神明前 九喜軒

〇由緒の香  
 上り下り  
 勢製とて入  
 少くも入  
 一とて入  
 芝神明前 九喜軒



わびのこころに... せいのこころに... せいのこころに...



わびのこころに... せいのこころに... せいのこころに...

麝香の玉... 丁字屋...

わびのこころに... せいのこころに... せいのこころに...

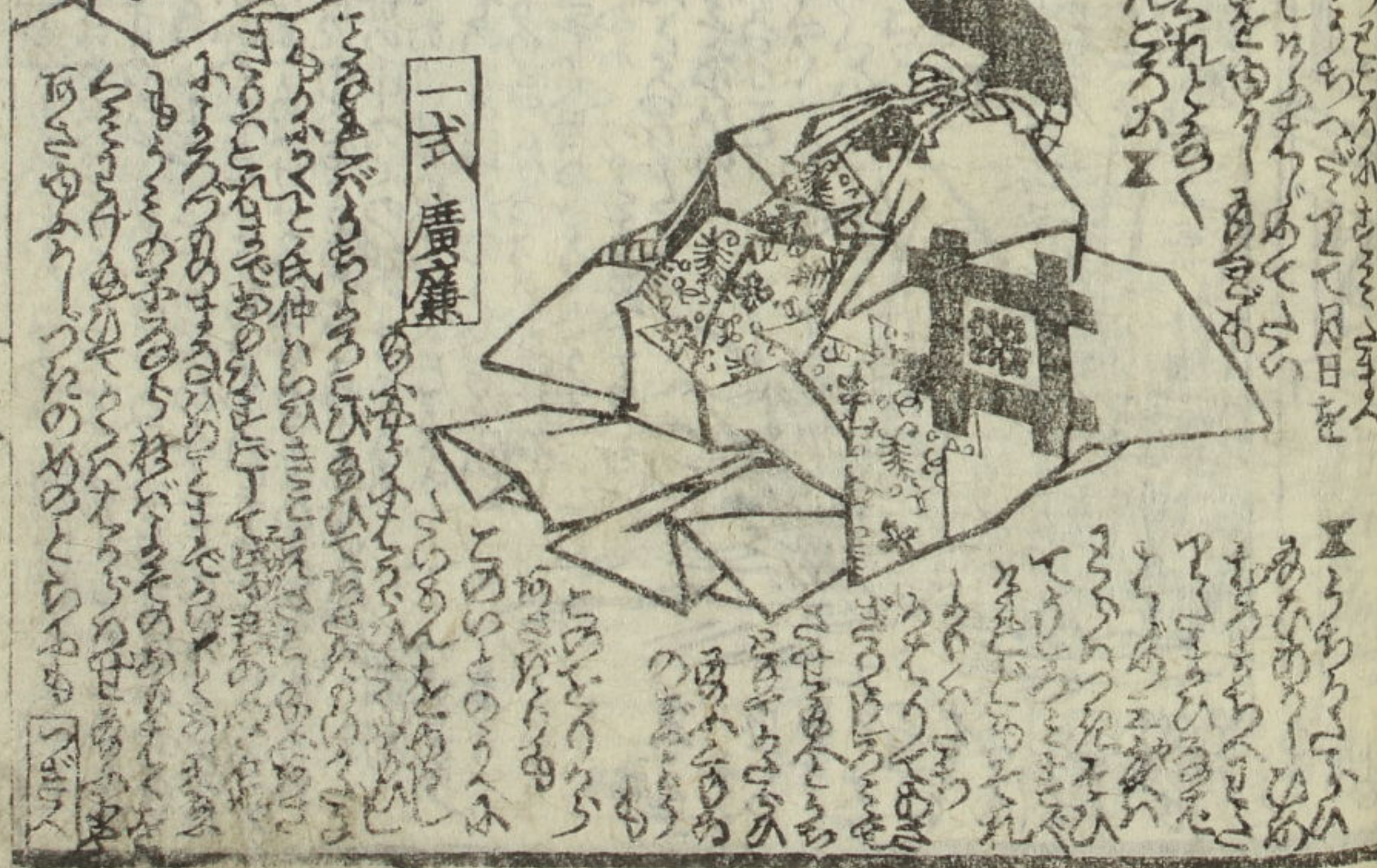


朝霧... 対面...



足利義久公諸侯を召て  
香壽公は明石姫と嫁せ  
るの御元服の支と議する

利耀基心



一式廣鏡

この衣は...  
足利義久公...  
香壽公は明石姫と嫁せ  
るの御元服の支と議する

この衣は...  
足利義久公...  
香壽公は明石姫と嫁せ  
るの御元服の支と議する



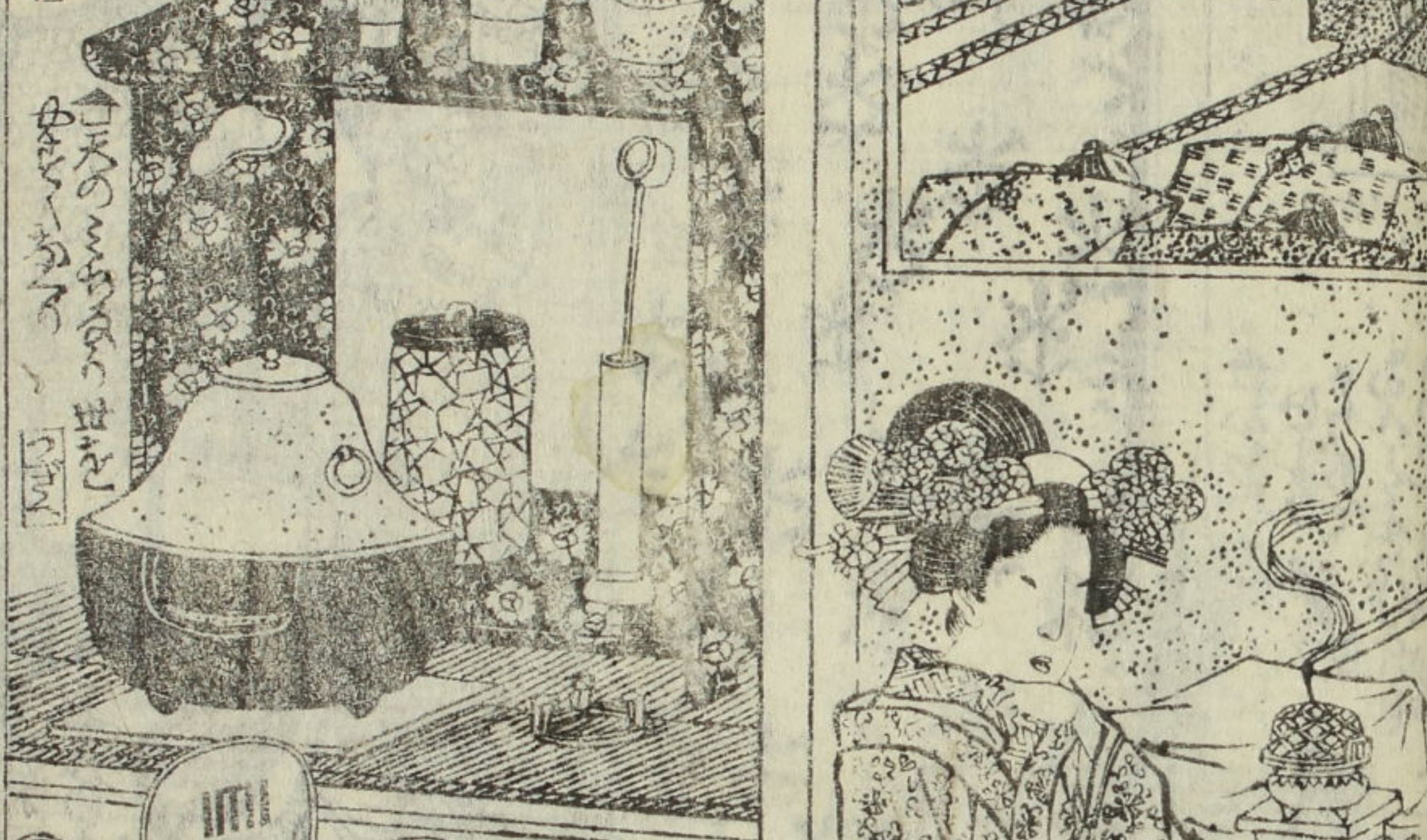
赤松高直

この衣は...  
赤松高直...  
この衣は...  
赤松高直...

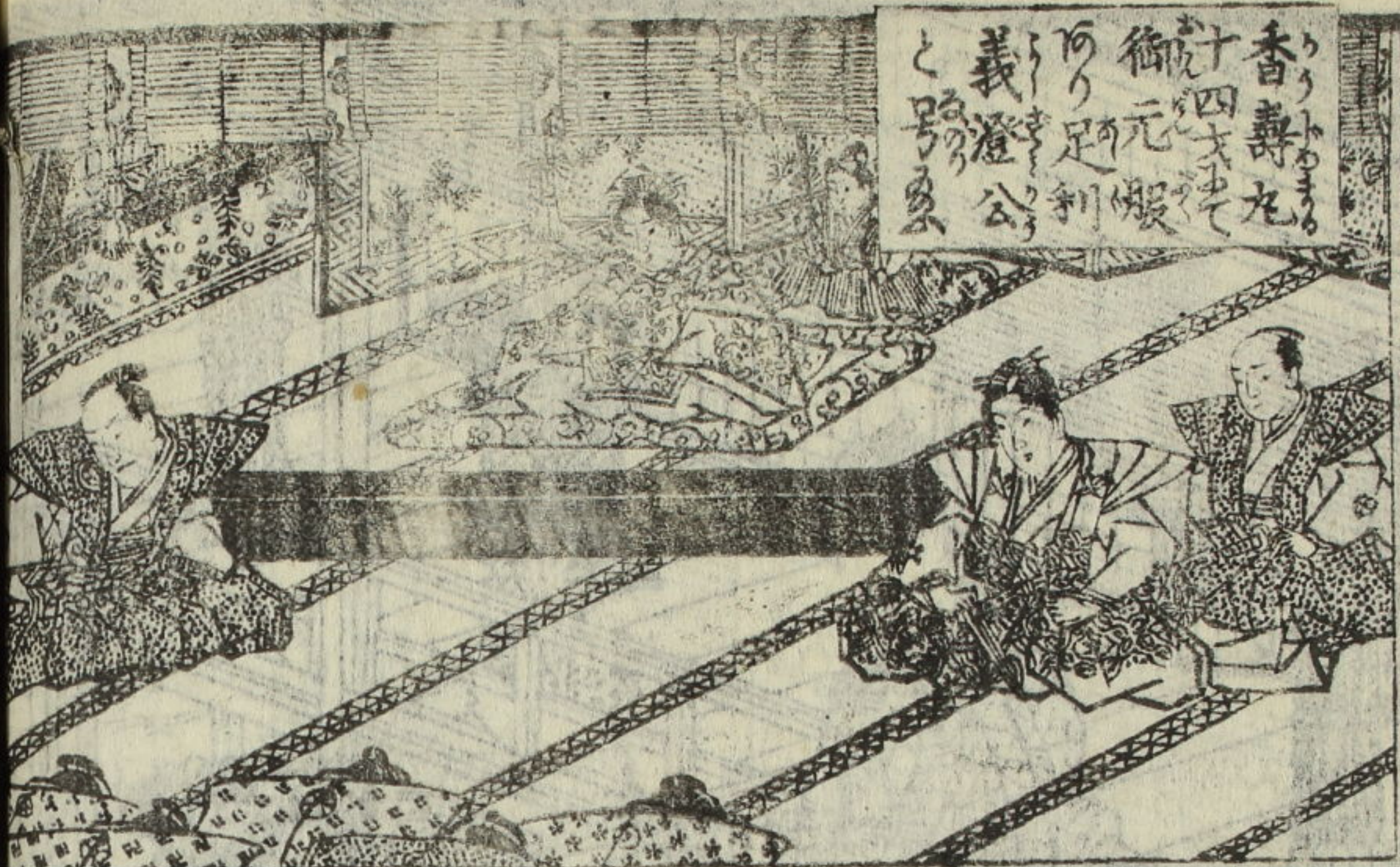
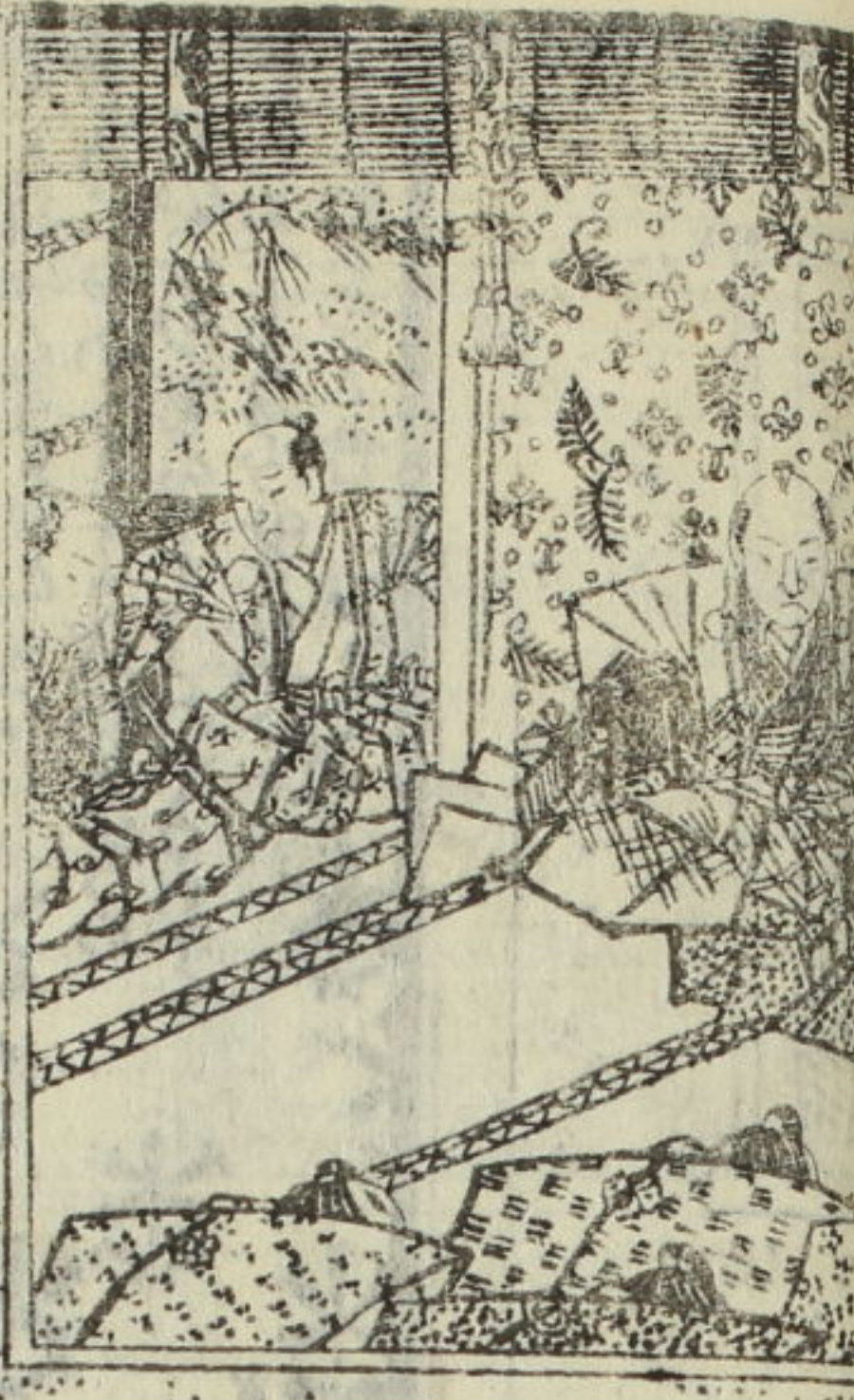


香九  
計四  
御元  
利  
義  
と

あつたてゝ身まぢりぢ  
らせぬはらひまらして  
もへらやういぢまら  
町おつらなひ氏仲  
の大將もつらひあ  
まのいひるるる  
おのいひるるる  
おのいひるるる  
おのいひるるる  
おのいひるるる  
おのいひるるる  
おのいひるるる



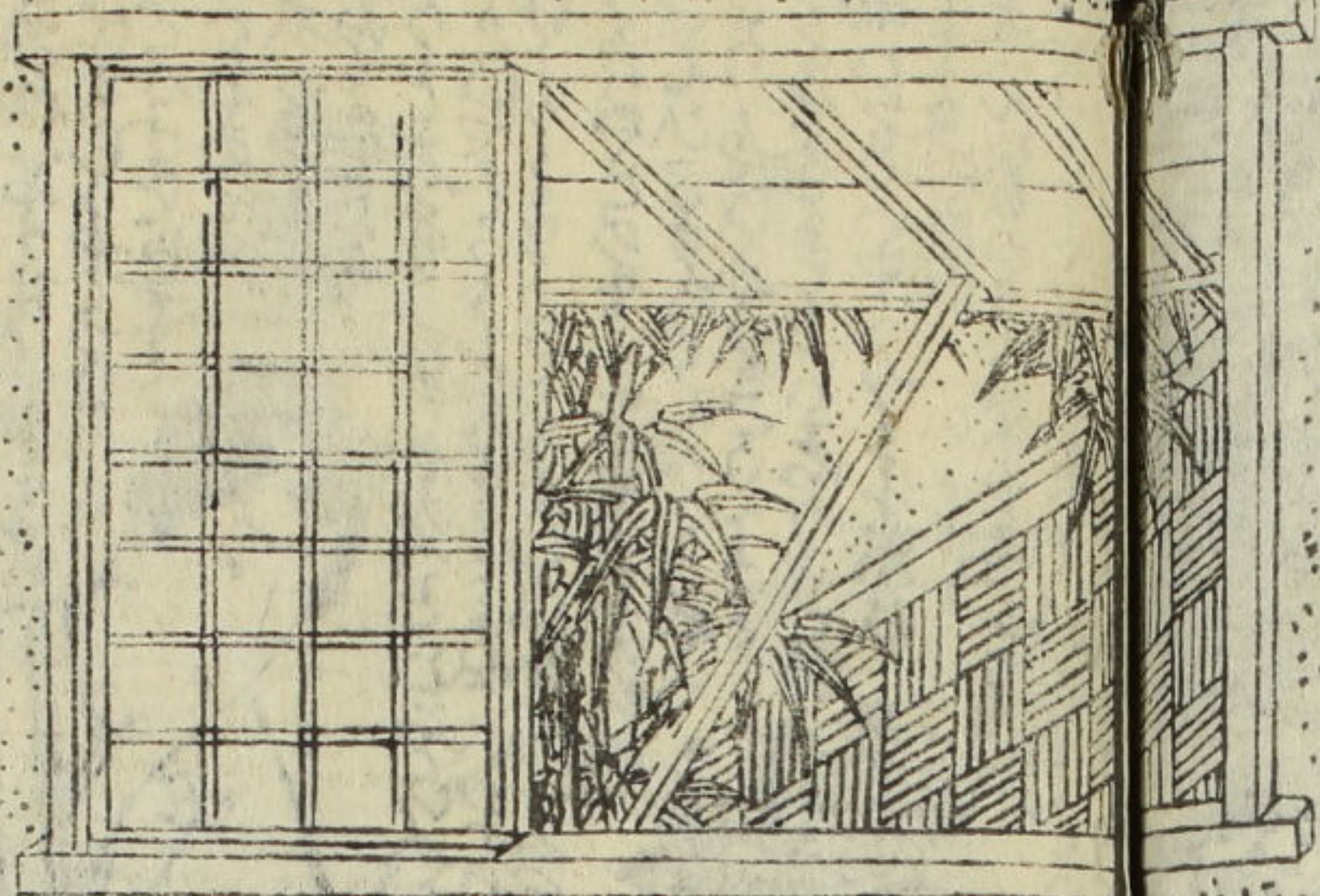
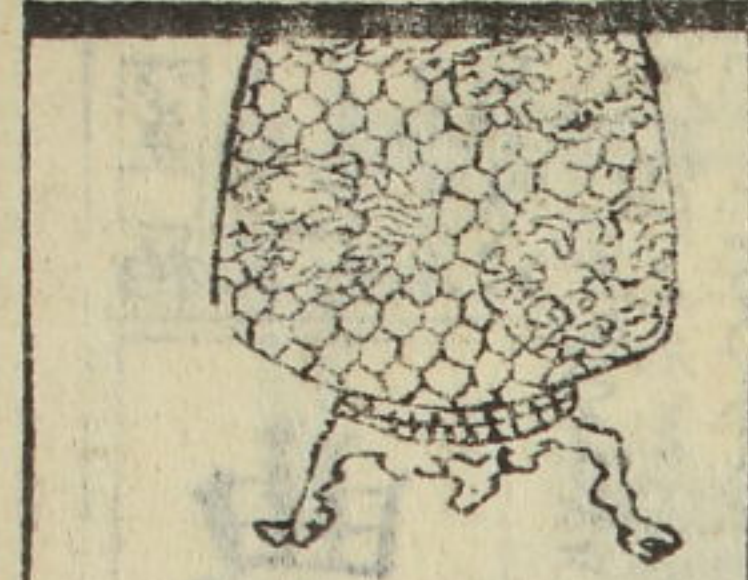
日本書



香九  
計四  
御元  
利  
義  
と



日本書



Vertical Japanese text in the upper left corner of the page.

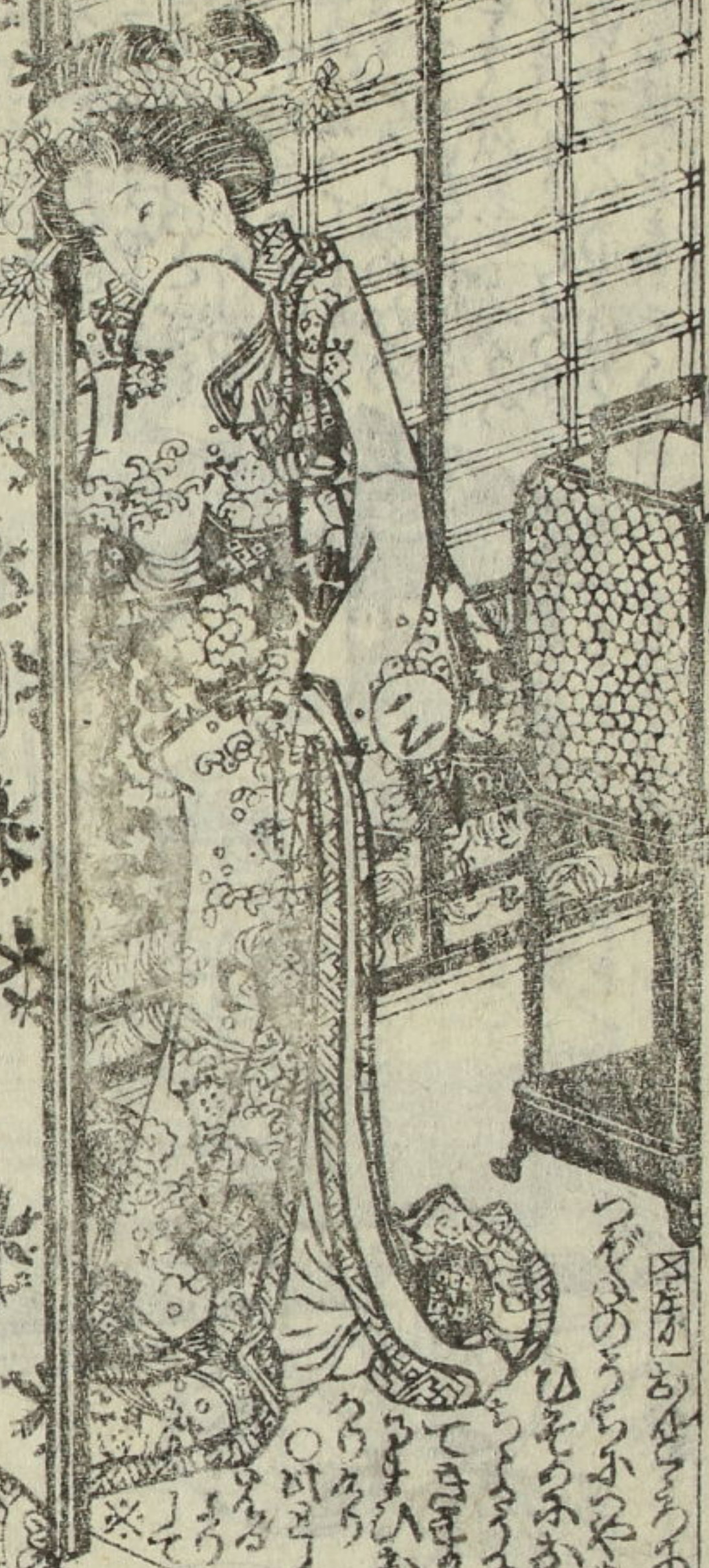
Vertical Japanese text in the upper middle section of the page.



Vertical Japanese text in the lower left section of the page.

Vertical Japanese text in the lower middle section of the page.

Vertical Japanese text in the upper left corner of the right page.



Vertical Japanese text on the right edge of the page.

Vertical Japanese text in the middle left section of the right page.



Vertical Japanese text in the lower right section of the page.







一箇一箇思國

一葉一葉入花

さくら

かざり

おんな

あやめ

あやめ

花田家

おんな

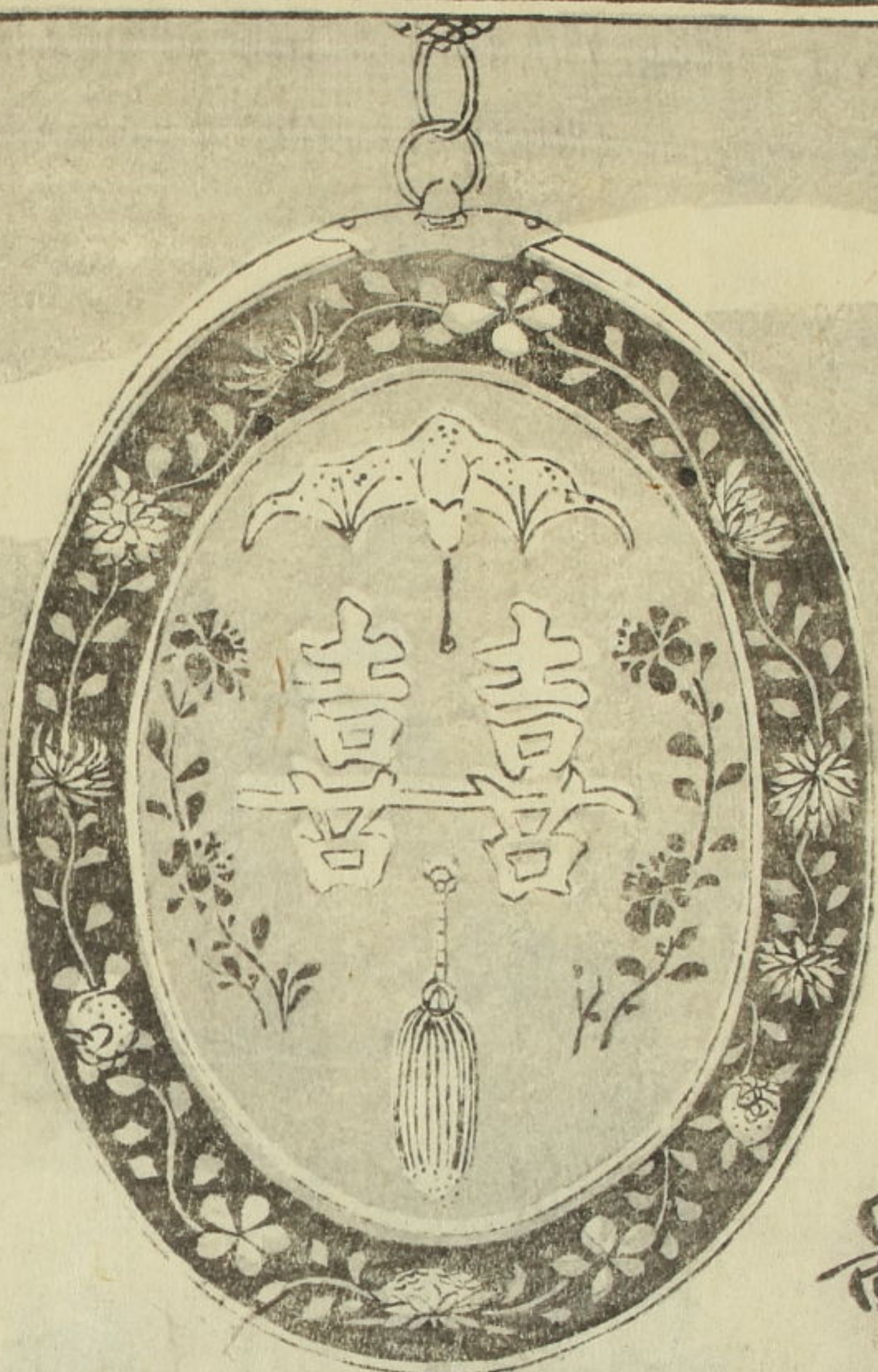
あやめ



おんな

あやめ

己酉新影



部の

西影

五編下

星水釣夫草子

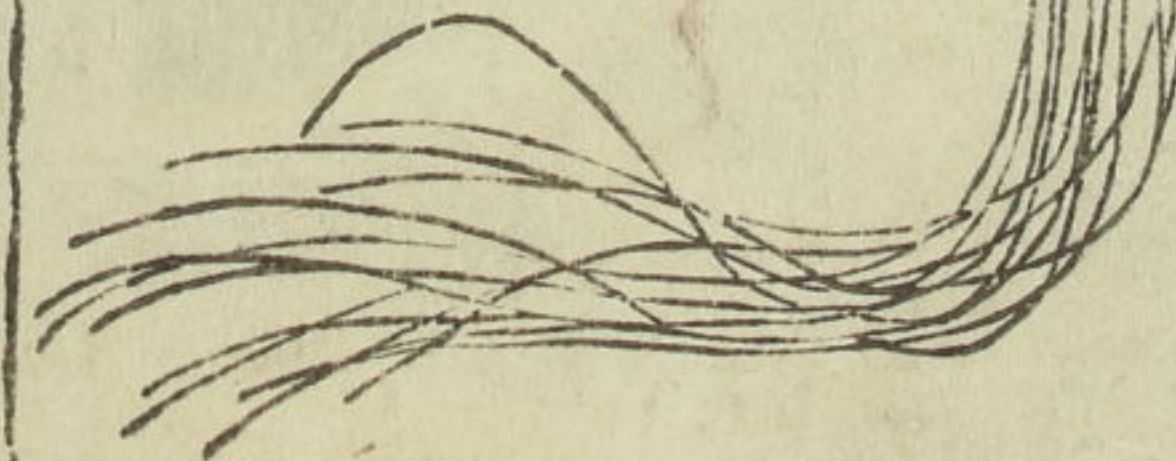
錦林

仙鶴兩錦

合刻

一筆庵作

豊(電)馬



竹取空穂伊勢大和諸の物語皆往昔の讀本也更ふりかへて書するふありと今  
 のごとく際々しく人名のよき年號月日細密に記されぬ田舎の女も百官名源氏も  
 惟光良清其外の人名知れぬ加え昔の俗語も今より見れば推文中で耳遠からる  
 注と読ても十の七八臘月夜も梅看る物今の對面め分解するや不台得て我れ  
 の譯する支かつかれが長の年月の間で何処で歳を暮らすもあれや年表と云昔より錯  
 へ人の年齢と勘定の合致ぬと思ひたるも有と見え過て改るに憚ることなれども今更  
 にも面伏るから朱雀院の擬へ義尚公を二四編の當時の武將と記し濱草を言ふ  
 かの義植公のありはるやと義尚と云ふよりも實急作の粗忽ゆき直木柱と梅枝の  
 間一年たるとは極樂寺の法會と小鉢の一周忌とせし三回忌とありぬ各段に編  
 の真木柱の説脱せる補の例の狂言所を加へ藤裏葉の道邊を拾ふ次編の弥上の唐  
 土の鳥のトク拍子小智慧の底をたたり初春の御慶と共ふ松の内より取遣はせし

嘉永二年酉新刊

一筆 芥舟主人

下第編





師の  
多の  
法  
哲

拾遺抄上云「和琴 宇多法師  
寛平法皇貴重のあまのり云  
りと和琴をたれと和琴のそりふひく  
なうらぬさてもふらぬれびとあかとり  
と先師の作畧なり

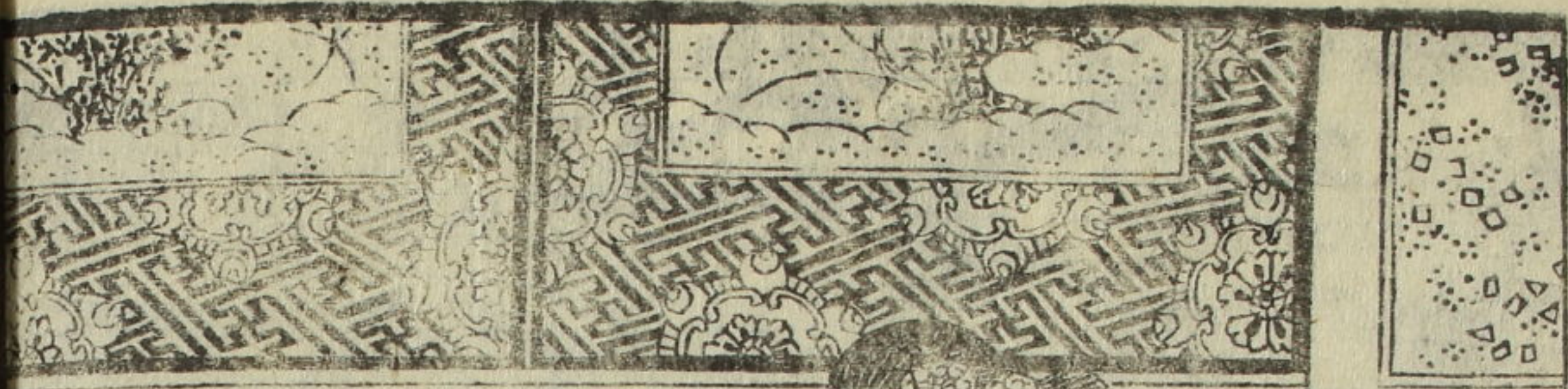


六條御所  
清あそびの園  
よあつた  
和琴とや  
りあつた  
あつた  
ひる  
庭の  
あつた

昌作三



Vertical Japanese text columns located below the illustration on the left page.



Large columns of vertical Japanese text on the right page, interspersed with illustrations of a woman in a kimono and a seated figure.



あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて

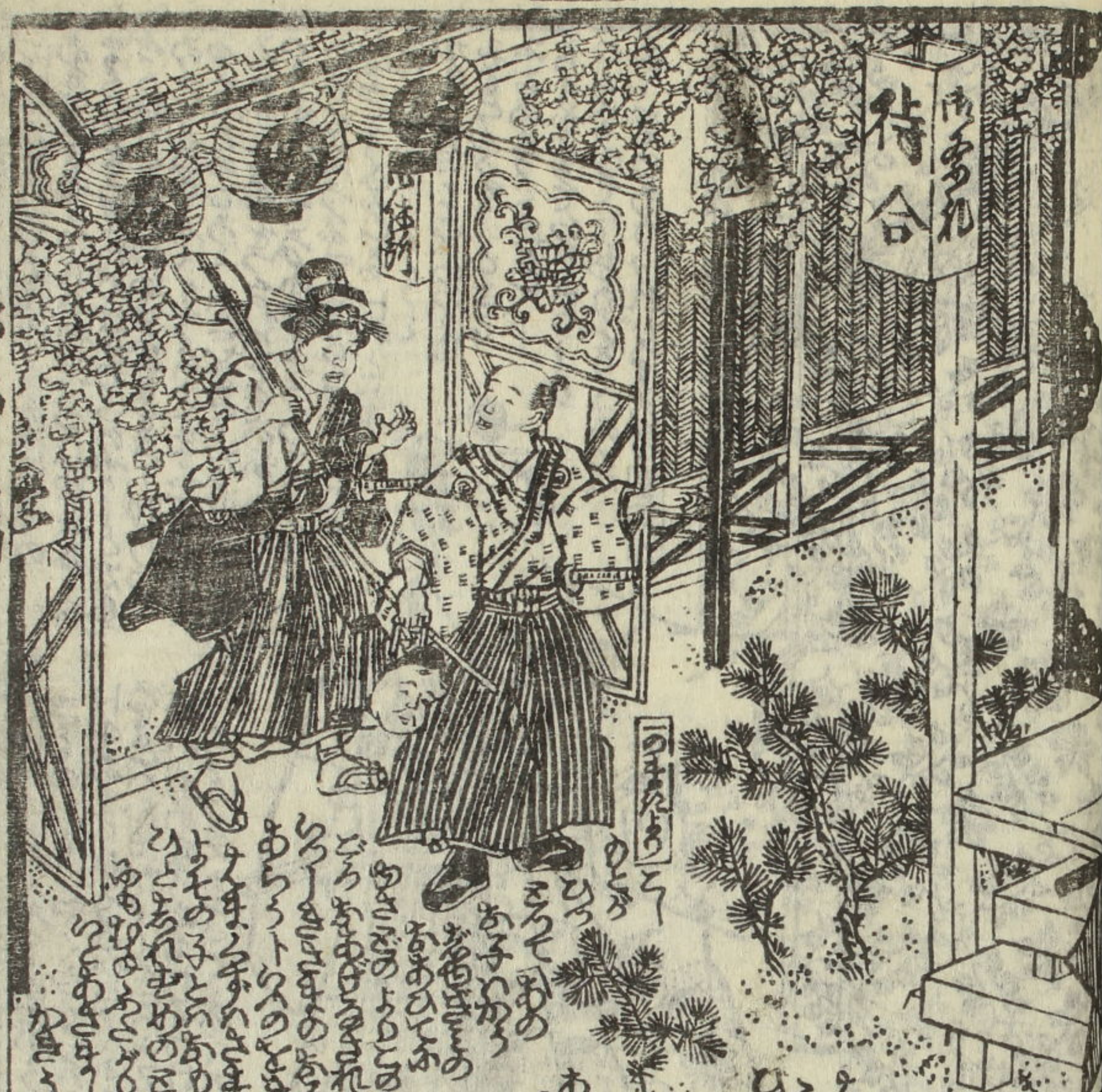
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて



あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて



あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて  
あきふりてふりて



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of dialogue or a commentary on the scene above.



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of dialogue or a commentary on the scene above.

Handwritten text in the upper right section of the right page, likely describing the scene or characters.

Handwritten text on the right side of the page, adjacent to the standing figure.



Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or further commentary.

Handwritten text in the upper left section of the left page, likely describing the scene or characters.

Handwritten text on the left side of the page, adjacent to the seated figures.



Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or further commentary.



































安藤  
芳序

